

330
44

著 雄 藤 平

鷄養羽五十新最

(編一第書叢業農用實)



(雄) クッロスマリフ斑横形新最

330-44

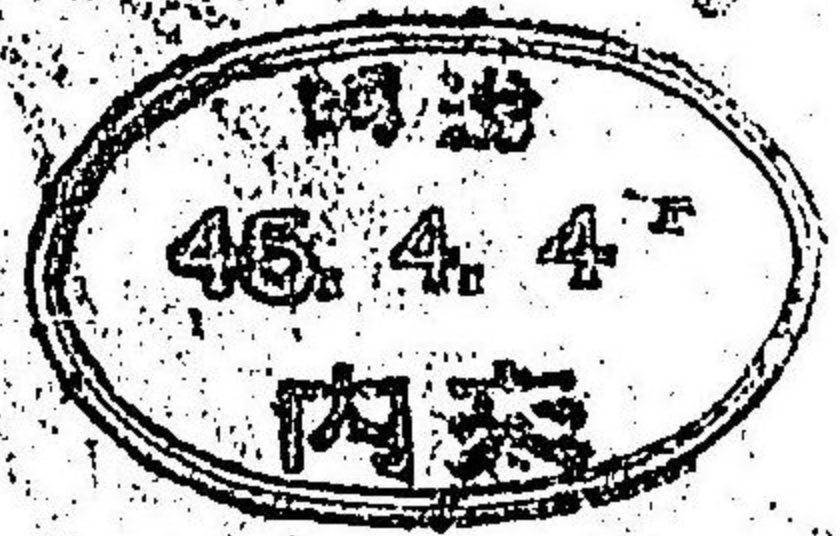
平 藤 雄 著



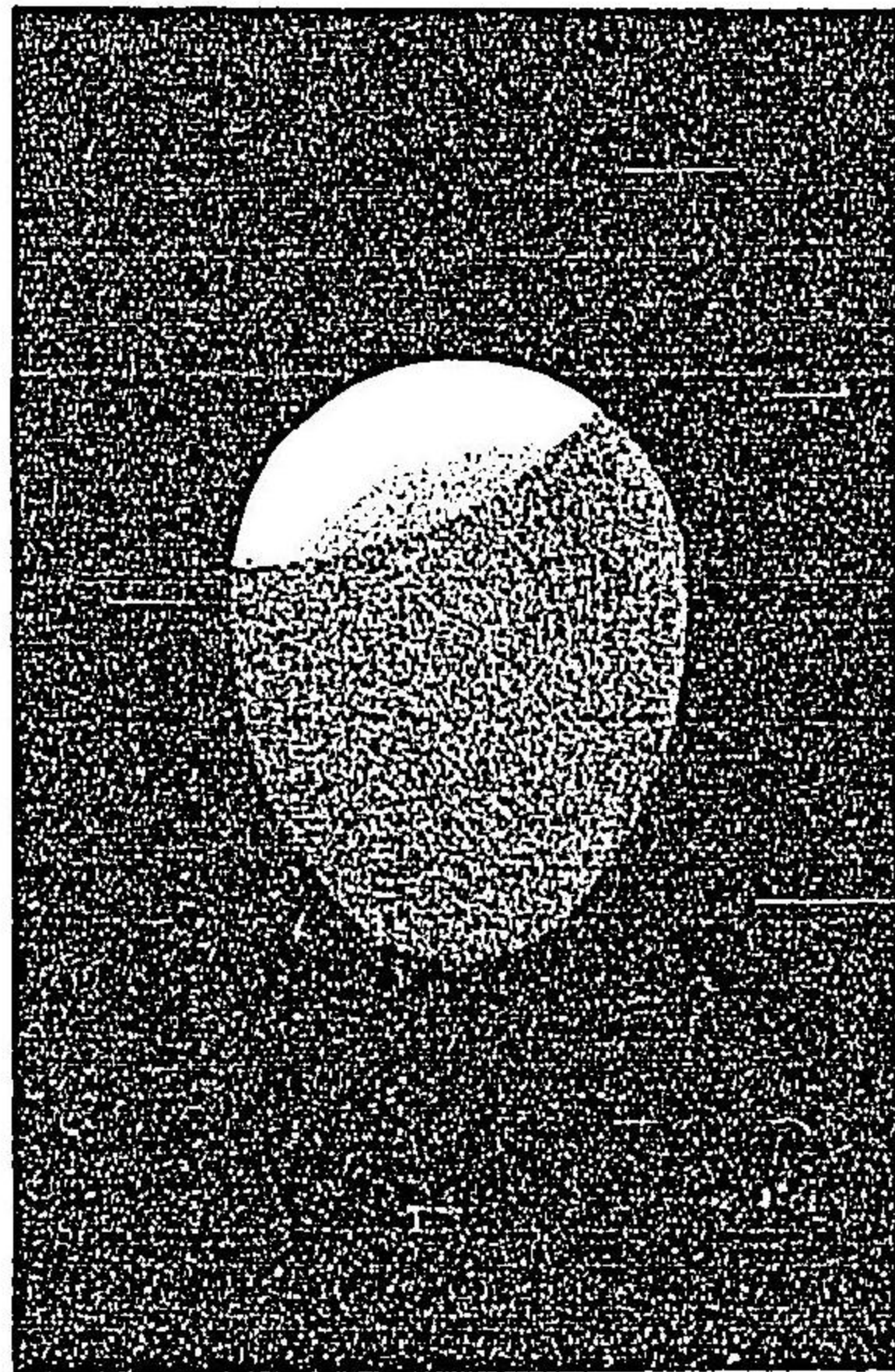
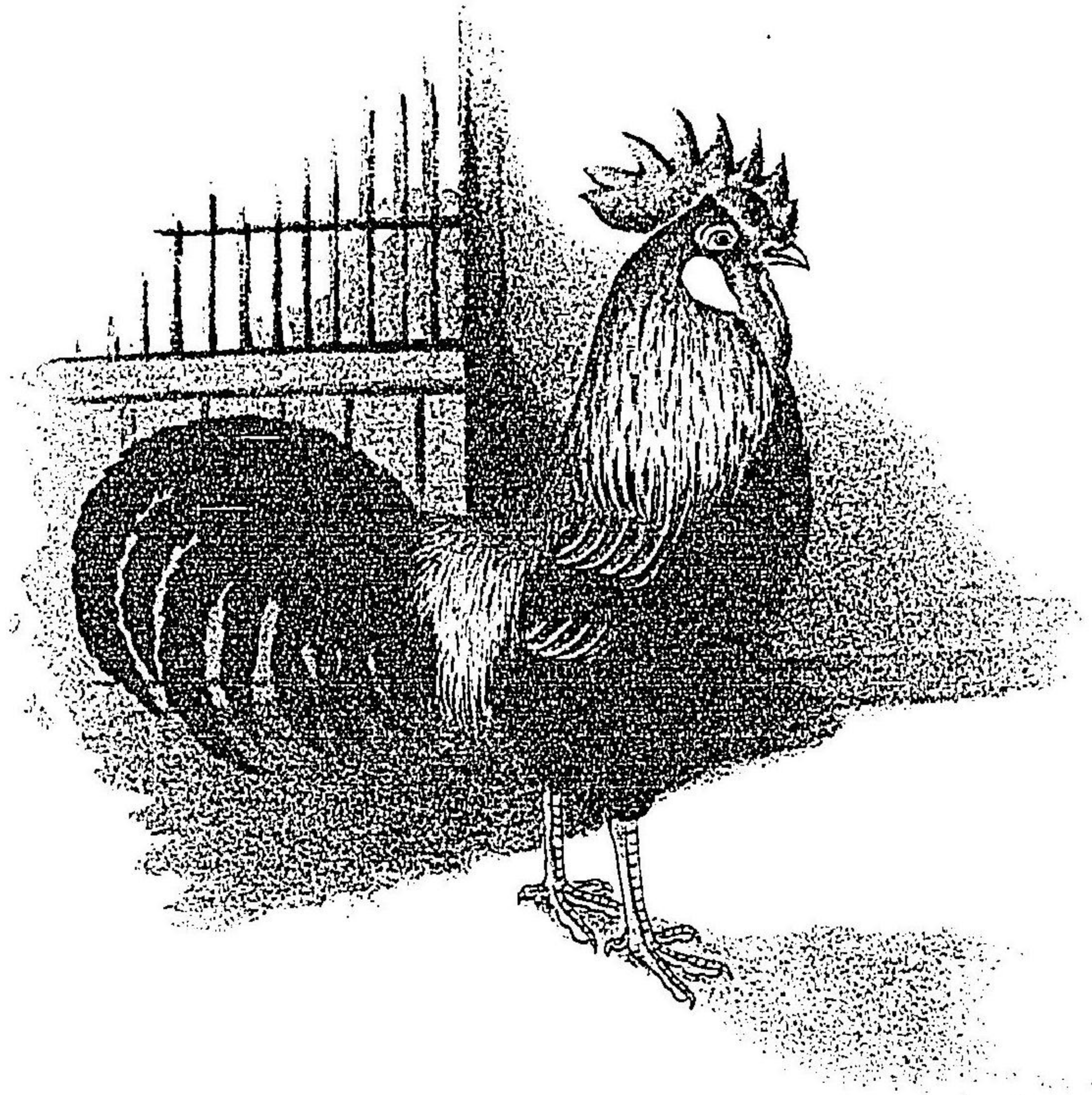
十五羽養鶏

實用農業叢書第一編

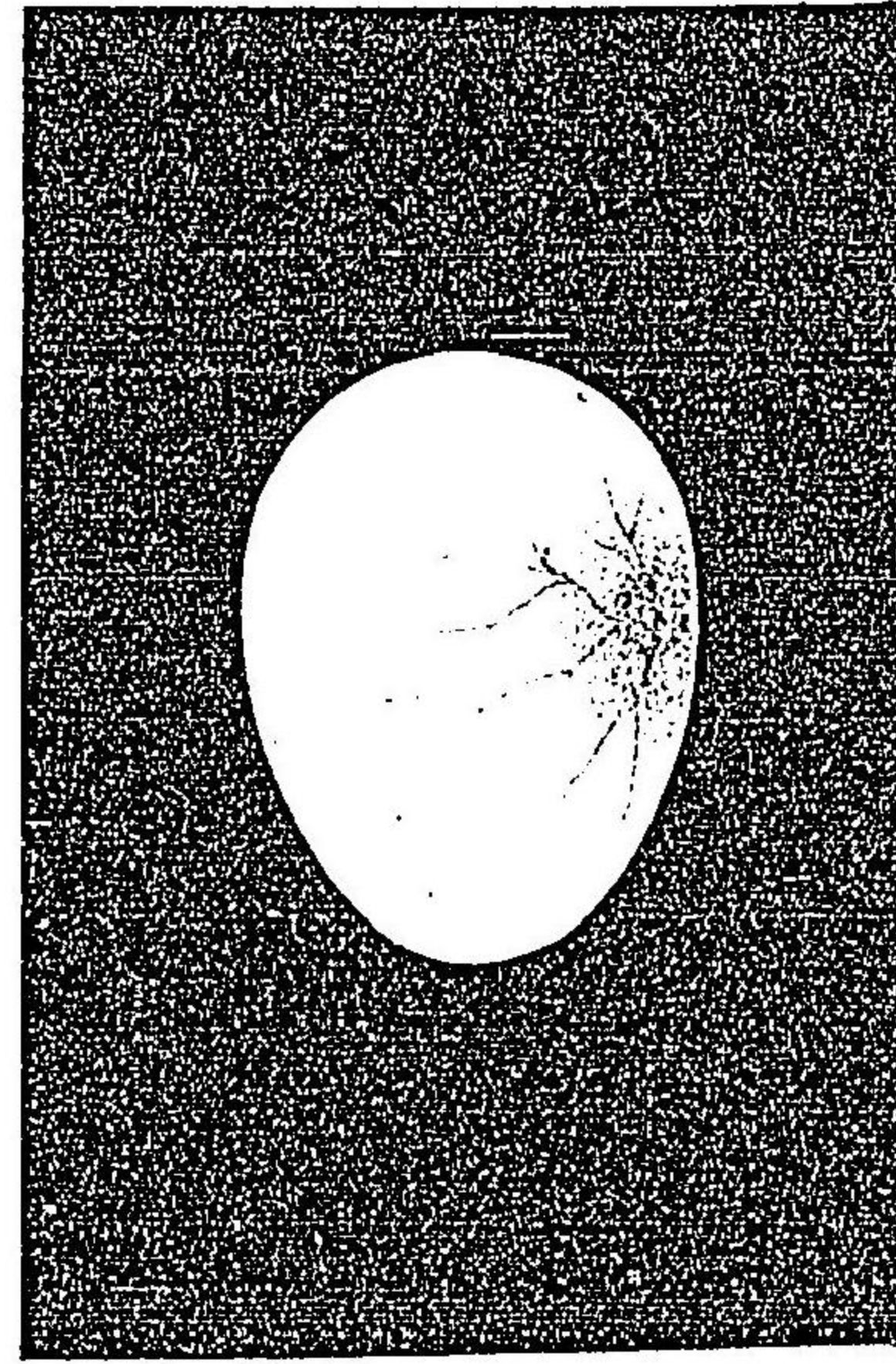
帝國農學會發行



(雄)ソーホグレ色褐冠單形新最



卵精有ルタ見ニ目日八十



卵精有ルタ見ニ目日五

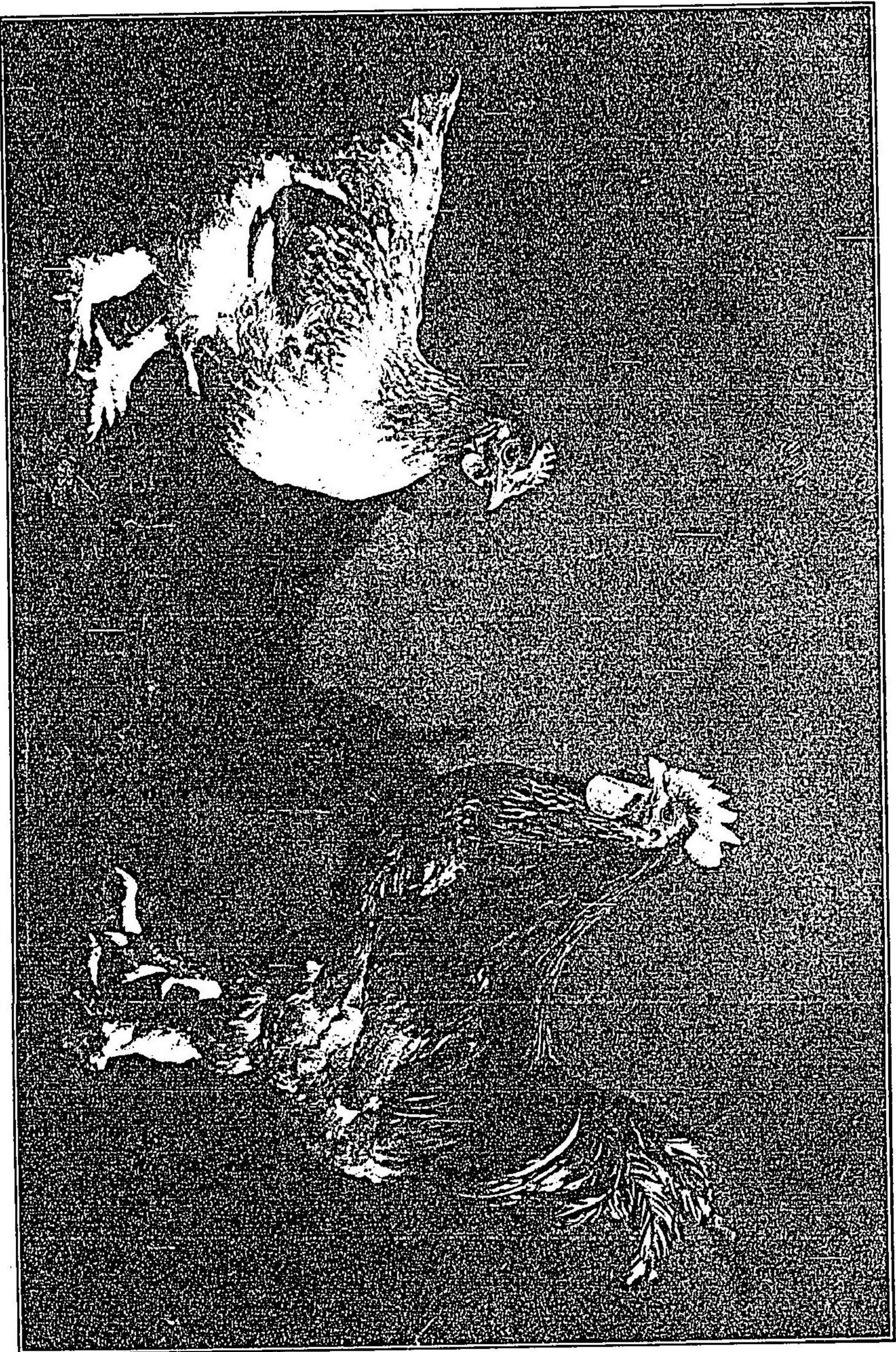


(雄雌)ハガール屋古名形新最

自序

本書は曩に帝國農學會編輯員足下の來訪せられたる際茶話せるを同會機關誌『新農界』に連載せるものなるが、その完結を見るに當り、廣く同志の爲めに出版しては如何との相談ありし故、圖に乗つて多大の増補と修正を加へ、大膽にも上梓せるものなり。

著者は先づ痴にして甚だしく鈍なるを告白せざるべからず。而も養鶏を始めてより茲に十有餘年、或は奸商に欺かれ、或は山師に手を焼き、七度轉び八度倒れて漸く今日この光明を見たるもの、また實に痴にして鈍なりしの賜たるを信じ且つこれを喜ぶ。若し夫れ著者にしてモ少し伶俐なるか、或はモ少し馬鹿なりせば終に事業を放棄して、百年不斷の怨をこの養鶏に致せしなるべければ也。



(養鶏) ハガールロ屋古名形新最

自序

本書は曩に帝國農學會編輯員足下の來訪せられたる際茶話せるを同會機關誌『新農界』に連載せるものなるが、その完結を見るに當り、廣く同志の爲めに出版しては如何との相談ありし故、圖に乗つて多大の増補と修正を加へ、大膽にも上梓せるものなり。

著者は先づ痴にして甚だしく鈍なるを告白せざるべからず。而も養鶏を始めてより茲に十有餘年、或は奸商に欺かれ、或は山師に手を焼き、七度轉び八度倒れて漸く今日この光明を見たるもの、また實に痴にして鈍なりしの賜たるを信じ且つこれを喜ぶ。若し夫れ著者にしてモ少し伶俐なるか、或はモ少し馬鹿なりせば終に事業を放棄して百年不斷の怨をこの養鶏に致せしなるべければ也。

生産に報酬遞減の律あり、資本を倍加して利益を倍收する事或は難からざらん、然れども資本を三倍して三倍の利益を得むこと常に不可能なり。即ちこれ報酬遞減の律にして、實に宇宙の大真理たるを疑はず。世人この理を知りてその實を知らず、余が十五羽を以て副業とせる養鶏の、最も経済的なりとするもの、蓋し此處にあり。

又實學に二科あり、一を生産學と呼び、他を經濟學と呼ぶ、前者は極度の生産を教へてその出づるを顧みず、後者は出づるを制して有利の生産を教ふ、同志の諸士夫れよくこれを辨せざるべからず。

主業は主業たり、副業は副業たり、主業は主力を注ぎ、副業はその餘力を致す、願くば同志の諸士、主客相轉倒するなからんことを。

明治四十五年二月下院

著者識す

鶏頭語

平君は私の親友である。私は農商務省の種禽場に俸職して居るものである。その故を以て、茲に本書の劈頭にあたり、僭越にも一言蛇足を加へようといふのである。

私が本書を讀んで第一に快心に感じたのは、從來刊行せられた多くの養鶏書とは、全くその行き方を異にして、専業養鶏を度外に置き、専ら副業的少收養鶏について、本邦農家の現状を以て實際に行ひ得る程度の養鶏を書いてあることである。また所説多く著者の實驗と失敗とを基としたもので、初心者のためその方法企劃の要旨を示し再び著者失敗の轍を履まざるよう、力めて初心者を戒めてあることである。尙ほ行文極めて平易にして、巧みに百姓的語句を用ひ、百姓的見解を以て書いてあることである。

これ等は従來の養鶏書に見ることの出來ぬ、本書の特色として、たしかに誇るべき點であると思ふ。然しながら、本書の内容が多く、著者の實驗より割り出されただけ

に、その観察が甚だ狭く、單に著者の一家言として認めればならぬ偏見誤察等もないとはいへぬ。殊に著者の實驗地の關係上所説多く寒國の養鶏に就てあるから、暖地の養鶏には或は全く適應せられぬ點もまゝあるようである。

されば讀者本著を繰くにあたりては、先づ以上の特色と、以上の欠陥とを念頭に置いて、熟讀玩味したならば、必ずや大に得るところがあると思ふ。

私は再びいふ。本著は直ちに實際に應用し得る少數養鶏について書いたものである。荷くも副業養鶏を以て、一家の増收を圖らんとする農業者のためには、誠に斯業の好指針として、推奨するに足る良書と謂つて差支へない、これと同時に世の所謂專業養鶏家なるものまた一時の好奇心や流行に追はれて養鶏を始めようといふ人のためには、全く一顧の値だもないものといふを憚らぬのである。

明治四十四年十二月

於東京澁谷 大山恒四郎

最新十五羽養鶏 目次

一	緒言	(一)	頁
二	種類	(四)	
三	雑種	(三)	
四	鶏舎及運動場	(二六)	
五	種卵	(三)	
六	抱卵	(三六)	
七	抱卵中の管理	(四四)	
八	績座	(五一)	
九	斷巢	(五)	
一〇	育雛(その一)	(五七)	
一一	育雛(その二)	(六四)	
一二	育雛(その三)	(七)	

- 一三 雛の良否及雌雄の鑑別……………(七)
- 一四 成鶏の飼育(その一)……………(七)
- 一五 成鶏の飼育(その二)……………(八)
- 一六 成鶏の飼育(その三)……………(九)
- 一七 多産及肥育……………(一〇)
- 一八 鶏の更新法……………(一〇)
- 一九 養鶏經濟……………(一一)
- イ 賣却卵の事……………(一二)
- ロ 廢鶏の事……………(一二)
- ハ 賣却雛の事……………(二八)
- ニ 糞の事……………(二九)
- ホ 飼料の事……………(三二)
- ヘ 收支の實例……………(三三)
- 二〇 帳簿……………(三六)

最新十五羽養鶏副業

平藤雄著

一 緒 言

副業奨励の聲 近來副業副業といふ聲が盛になつて來て、一も副業二も副業と、副業にさへ熱心ならば戸棚の牡丹餅に足でも付くやうに心得て居らるゝ方が多く、御本尊の主業をソチ除けにして全力を注ぎ、何らが主業か副業か解らぬやうにして居らるゝお方もあるやうです。いはゞこんな人は丁度神様に尻を向けて拜んで居ると同じ事です。どうして福利を得られやう筈はありません。鶏飼が利益があると聞いて、田や畑に草を生やしては全く駄目得る所のものは、結極借金位が關の山です。

主業としての養鶏 全體主業としての養鶏事業は、餘程緻密な考を以てや

最新副業十五羽養鶏 一、緒言

(一)

副業奨励の聲
主業としての養鶏

らぬと全然失敗に終ると想ひます早い所を申すと需用供給の盛な場所、マア都會附近なら主業的にやつても損は無いでしやうが、不便な田舎の地では全然失敗に終つて仕舞ひます若し鶏に利益があるといつて、飛驒の山中邊で主業的にやつたらどうでしやう、私の知人で東北に住んで居らるゝ人がありますが、七八年前始めて十二三羽の鶏を飼ひ、充分食餌も管理も行き届いたので、比較的利益もあり面白味もあつたと見えて翌年は五十羽程にしました、其當時近隣であまり養鶏をやつて居なかつた頃でしたから、肉も割合に高く、雛も相場以外の良い値を以て賣り拂つたものですから、又々多くの利を得ました、其邊で止せばよいのに、慾に限りの無いのは人間の弱點だん／＼増す一方で、其後三四年の間に千羽程にして、千羽飼と云つて大に吹いて居たのです。サア斯うなると随分収入も少くはないのでありますけれども、結極管理が充分ならず、肉も賣れず、卵も安くなる飼料が續かぬといふので大失敗、三年間に大枚一千圓をすつて仕舞つたのです。田舎の千羽飼は要するにこんなものです。

然らば何羽位までは副業で、何羽位になると主業にせねばならぬか、それは程度問題ですから、數の事はお話が出来ませんが、まづ比較的經濟的で又有利なのは十五羽位です。

飼育して最も經濟的なる羽數

副業の眞意

飼育して最も經濟的なる羽數 副業獎勵の本などを見ると、五十羽以上の百羽以上などと大きな事を書きたて、恰も濡れ手で粟をつかむ様な事を説いて居ますが、夫れは大虚言の皮です、斯く申すと如何にも唯我獨尊の專斷のやうですけれど、實際私はさう思ひます。私も始めは副業の本を讀んで、まあ五十羽位までは宜しからうと思つてやつて見ましたが、損をいたしましたから、次回に三十羽程としました、而しやつぱり駄目、目下は十五羽でやつて居ますが、從來の經驗と世間話とで見ると、此位が一番利益があるやうです、尤も世間話の中にも、精々十羽に限ると申す方もあります、或は左様かも知れませんが、これも自家の殘物で飼育する事が出来るとしたら、矢張十五羽位が宜しからうと思ひます。

副業の眞意 前申す通り私は十五羽を飼育して居ますが、それに幸の事は丁度十五歳の小弟が居るので、大方の管理は皆此小弟に委せて居りますが、まあこれで時々新鮮な卵の御馳走も得、人様にお土産にあけても尙一ケ年の煙草代や

子供等の學校用品位は優に得らるゝのです、私は所謂副業なるものゝ利益は此位で充分であらうと思ひます。私が十五羽を以て最も經濟であるとし、茲に十五羽養鶏なるものを述べ、事にしたのも、全く此見解から申すのでありまして、以下我田引水のやうですが、批評は批評、實際は實際として、信を置くに足る世間話や學說やをも加味して述べる事とします。

尙ほ豫めこゝにお断りして置きたいのは、私はこれ東國のもの、寒國と申しても宜しい位の地に居るのであるから、以下説く所も自然寒國に近い地の養鶏といつたやうなものになり、従つて暖國の方には適合しない個所もあるかと思ひます、此書をお讀みの方は其邊のところお含み置きを願ひたいのであります。

二種類

鶏の種類 鶏の種類は極めて多く、現時日本に居る種類でさへ、已に四五十種に餘るやうです、夫れに年々何々新種だの、何々系統だのといつて輸入せらるゝものも多く、殆ど其停止する所を知らぬやうな有様であります、之れを用途に依つて

大別しますれば、

- 一 卵用種
- 二 肉用種
- 三 肉卵兼用種
- 四 愛翫用種

の四種であります。養鶏に經驗のあるお方ならば、種類の名を聞くか、或は其形を一寸見たゞけで、直ぐ其何れの用途に屬するものであるかを知る事が出来ませう、れど、初心の方や吾々農民仲間では、寧ろ御存じの無い方が多いやうです。此事に就ては先年次のやうな面白い話がありました。

初心者の失敗談

私が未だ東京に居る時分、内務省に出て居らるゝ方で頗る貴族らしい方が、丁度私の隣り屋敷に居られました、或る日、鶏を買つて来たから見て呉れとの事でした、から行つて見たのです、成る程随分大きなのが七羽籠の中に居る、實は私も其頃、鶏の事など全く知らなかつた時でした、から、一向に説明も出ず、マアほんの見た位でしたが、主は大の得意で、何れこゝ一ヶ月位で産卵するで

しやうねといひ、奥さんも、こんな大きな鶏ですから卵も大きいでしやうなど、
 のお尋ねですから、何もかもさうでしやうと答へて来ました。御主人
 は毎日役所から歸ると尻はしよりに素足で、日暮れも知らずの御丹精、而し妙な事
 には其後一ヶ月は愚か、二ヶ月経つても、九十日経つても一向に産みません。唯餌の
 みを食つて益々體の太るのを見る許りでした。後で御主人も非常に落膽して居ら
 れたやうでしたが、それも其筈今にして想ふと肉用種のアラマで、買つて來られた
 當時は生後五ヶ月位のものであつたやうです。

こんな妙な茶話もありますから、初めて鶏を飼はるゝお方は、この種類と云ふこ
 とに先づ第一にお考にならねばなりません。そこで以下吾々副業養鶏家として
 辨へて居らなければならぬだけの各種の特徴特能に就いて、一通りお話しして置き
 たいと思ひます。

一 卵用種

本種は出來るだけ多くの卵を得る目的を以て、改良淘汰したものであります。か
 ら肉質や、體量の方面は、そちのけになつて居ます。即ち肉は味無く肉付も不良

で、體量とても普通雄で五六百匁位中には近頃のミノルカのやうに一貫目近く
 まであるやうなものもありますけれど、こんなのは極めて稀です。また、産卵の
 念が更に無いから、母鶏などにしては全く駄目です。本種の特能は全く産卵歩
 合の多い事、體量に比して卵の大なる事、並に早熟なる事、坏であります。總じて
 冠大きく尾長く脚細く體小に舉動極めて敏活、輕快で、ものに驚き易くよく喋ぐ
 鶏です。又廣く餌を求め歩き廻る性質をもつて居り、成るべく廣い處で生活する
 のを好み、従つて放飼するに適し、柵飼としては少し不向の種類であります。

左に卵用種中主なるもの二三を擧げて説明します。

レグホーン種

伊太利國の原産で、最も古く成立した種類であります。本種の
 特長は卵用中でも又一層多産早熟早産で、且體の割合に比して頗る大卵を産み、而
 も體質極めて健全に、育雛最も容易なる點であります。凡そ歐米諸國より輸入せ
 られたる純粹種の種類數ある中、其實用的價値の大なるもの、凡そ此種の右に出づ
 るものは無いといつて差支へないのであります。唯一般卵用種の通性として、性粗
 放に高飛し易く、柵飼に困難なる事や、作物を荒すと云ふのは、其短所として見るべ

き所でしやう。

本種の一般體形を申しますと、冠肉髯及顔面は鮮紅色で、冠には單冠と蔷薇冠の二様があり、單冠のは殊に大きく美事に雄は直立して居ますけれど、雌のは一方に倒れて居ます。耳朶は白色で長圓形をなし、嘴と脚とは黄色を呈して居ます。體は極めて嬌奢美麗で、全體の輪廓が總て曲線を以て圍まれ、少しも角ばつた所は無いものであります。又羽毛には白色、褐色、パフ色、黒色等種々ありますが、其最も實用的なのは單冠の白色と褐色の二種であります。

體量 雄六百目 雌三四百目

産卵數 百五十乃至百八十個

卵量 十六七卵

卵殼 白色

種
ミノルカ

ミノルカ種

本種は地中海ミノルカ島の原産で、英國に於て最もよく改良せられたものであります。其特長は冠と肉髯の尤大艶美なること、卵量の大なる事、殆んど他の鶏中に冠たる事、並びに體形は兼用種中最大にして性質比較的温和なる點であります。而し體質一般に虚弱にして育雛困難であるから、副業飼育には適

當な種類だと申す事は出来ませぬ、殊に大冠であるから寒地では冬季凍傷を生じ易く、全く不向と云つて差支へありません。

一般の體形はレグホーン種に似て一層重大なるもの冠と肉髯とは殊に大にして顔面と共に鮮紅色を呈し、耳朶は白色にして豐圓です。羽毛に依り黒色と白色の二種に別れ、黒色種には又單冠と蔷薇冠の別がありまして、雌の單冠は一側に倒れて居ます、嘴と脚とは共に暗黒色ですが、又白色種となると矢張り白色になつて居ます。とに角前述三種中單冠黒色種が最も普通で、また最も實用に近い種類であります。

體量 雄七百目乃至一貫目

雌六百目乃至八百目

産卵數 百四十個乃至百七十個

卵量 十七八卵

卵殼 白色

近來モルガン系のミノルカがひどく流行するやうで、各地の品評會で優賞を得、價格の如きも一番百圓だ二百圓など、滅法な事を稱へ、非常な人氣を持ち、ミノ

ルカといへばモルガン系に限るやうに思はれて居ますが吾等素人には成る程一寸見ると冠や肉髯や耳朶が馬鹿に大きく如何にも美事であるがよく考へて御覧なさい物には釣り合といふものがありますあれでは全く全體の釣り合が取れて居ませぬいはゞ一種の怪物ですあの厄介な冠を殊に寒國では如何ともする事が出来ぬのです。それに一般にミノルカは體質弱く産卵数が少ないのにモルガン系と来ては一層ひどいのです。珍奇を街ふ好事家なら兎も角吾々副業家に向つては極めて不生産的な長物といつて差支へありません。

アンダルシアン種

本種は西班牙國の原産で其特長はミノルカと同じく卵量の大なると羽色の一種特有なるとであります。而し如何に同一母鶏の卵を解してもアンダルシアン特有の羽毛を有する雛を得る事が難く或は白色に黒斑を交へたり或は全く黒色に出来たり甚だ不安なものですそれにミノルカ種と同様體質が弱く且つ雛の飼育が困難で到底素人方の飼ふ種類ではありませぬ。

本種の一般體形はミノルカ種に似て稍々狹小のやうに思はれます冠肉髯及び顔面は鮮紅色耳朶白色嘴は黒色で脚は鉛色であります。アンダルシアンの羽毛

は悉く説明すると中々面倒ですが、雛と申しますと雄の頸部及び背部は光輝ある藍黒色、諸羽と尾部の邊は藍黒色を呈し、頭と軟羽は藍灰色、其他は概ね藍灰色の地に濃色の覆輪がついて居ます。雌は頸部藍灰色、其他は概ね濃色の覆輪藍灰色であります。

體量	雄八百目
	雌五六百目
産卵數	百四十個乃至百六十個
卵量	十七八分
卵殼	白色

右三種の比較

右の三種類は最も古くから本邦に輸入せられ、又最も普通飼育せられて居る種類であります。其中でもレグホーン種殊に白色レグホーンは本邦の風土に最もよく適し、體質強健、産卵力旺盛で、北は東北地方、北海道より南は九州臺灣に至る迄、何處に飼つても成績が一番良好といはれて居ります。ミノルカも暖地に於ては多少成績の好い所が無くもないが、一般に面白くないのです。殊に東北北陸等の雪國には全く不適當です。アンダルシアンと来ては、ミノルカ

他の採卵
用種

以上の不成蹟で、こんな種類に重きを置いて居るやうな地方は、直ちに以て其地の養鶏の幼稚なるを知るに足る矣です。

他の採卵用種 右の外に卵用種としてスバニツシ、ハムバーグなど申すのもありますけれど、實用鶏としては全く見込がありません。それから述べませぬが、唯養鶏種禽屋がアスコナとかフレールとか乃至ヘールターなど其名の耳新しいのを利用して、何にも知らぬ田舎の吾等相棒の好奇心を挑発し、無暗に其の効能を吹き立て、非常な高價で其種卵や雛を賣りつけたる爲め、一時大分廣まつたやうでしたが、こんなものにつらまつた相棒達こそいゝ面の皮です。一度飼つたら大概の人がこりくするものです。唯注意の爲め、一寸申添へて置きます。

二 肉用種

此種は主として肉を得る爲めに飼育するのでありまして、卵用種と反對に肉の方面に許り改良されて居りますから、産卵力は至つて弱いものです。其代り體格が極めて大きく肉付きもよく、又味も概して結構なものです。舉動は至つて緩慢に採食性が乏しく、一寸見た所でも如何にも態度が落ちついて大様な點が

肉用種

肉卵兼用
種

あります。従つて柵飼に適して居りますし、又飼育も比較的容易だと云ふ特點がありますけれど、現時に於ける我が國の狀態から見ると、單に肉を得るのみを目的としての養鶏は殆んど望みの無い事と思ひます。よし肉用の望があるとしても、採卵採肉を兼用とする優良なる實用鶏が多く現はれたる今日では、特殊の目的の外、肉用専門の鶏は必要なしといつてよいのです。そこで茲には唯普通の種類の名稱だけを申して置きます。即ちコーチン種、ブラマ種、ラングシヤン種、キング種、まづこんなものです。

三 肉卵兼用種

以上述べました二種類は各々一長一短があるので、實用鶏としては少し不便の嫌があります。そこで歐米では種々改良の結果、兩者の長所を兼ね備へ居る一新種を作り出したのです。之れが即ち吾々の所謂肉卵兼用種なるものであります。右述ぶる如き次第ですから、卵肉兼用種は、肉用種と卵用種との中間の形質を備へて居るので、體の大きさも中位性質も比較的温和ですが、さればとて又舉動不活潑といふ程でもなく、相應に採食性もあり、柵飼としても差支へなく、勿論放

飼して置くも卵用種のやうに喧噪でありませぬから女や小供でもよく管理する事が出来ます。又畑作を荒す程度も少ないから隣の親父さんに小言を戴かなくともすみませぬ。産卵は一般に卵用種には劣るやうですけれど中々よく産む許りでなく産卵の具合が比較的一ケ年間平均して居るやうです。尙肉付も頗るよく質亦佳良と来て居ますから廢鶏としても所謂つぶし値がきくといふ利益があります。今一つ都合のよい事は就巢の念が強く孵卵育雛に巧みだといふ點で母鶏として極めて都合のよいことです。

前申す通り兼用種には凡て三つの用途が具備せられて居ますから農家の副業としては勿論専門業としても家庭の娯樂用としても何れの方面にも適當した實用鶏といつて差支へないのであります。左に私が望みあると想ふ二三種に就いて述べます。

名古屋種
コーチン種

名古屋コーチン種 我が國名古屋地方に於て在來の地鶏とコーチン種等の交雜に依つて成立した種類で名古屋大阪地方を中心として最も廣く飼育されて居ます。本種の特長は體質非常に強健で粗食に甘んじ、狹隘なる場所に多數柵

飼する事が出来るといふ點で日本の風土や農家の事情に最も適合した實用種として差支へありません。たゞ其缺點として見るべきは就巢の念が寧ろ強過ぎる爲めに産卵歩合が稍劣るといふ事と外觀の稍々粗野だといふ事でありませぬ。若し此等の缺點を改良し前に述べた特長を益々發達せしむるやうに勉めましたならば本邦新出の一種類として外國の純粹種などが逆も及びもつかぬ實用鶏となる事は疑ひない事と思ひます。斯く申したならば如何にも獨で我張るやうな妙な氣がしますけれど如何に外國品がよいからといふて、一も外國二も外國といふ必要もなく寧ろ此磨かぬ寶玉を磨き上ぐるといふのは吾人農業者の努力だらうと思ひます。

一般體形を申すと冠は寧ろ小形にして顔面耳朶と共に鮮紅色をなし胸背は又共に廣く全體の羽毛淡黄色にして翼羽の一部並びに尾羽は黒色をして居ます。脚の色は鉛色で其外側に脚毛を持つて居るものが普通でありますけれど之れは敢て一定して居ませぬ。又色も黄色のや闇色のもありでまだ種類が充分固定して居らぬやうですから同一母鶏の卵を孵化しにしても種々の毛色のものや利用

性の非常に劣つたものが出ます。而し私の経験で見ますと母鶏として抱卵育雛さして最も成績が良く又冬季の如き一般鶏に産卵乏しい時分比較的産卵歩合の多いやうに思はれます。兎に角吾々農民共の飼ふには最も都合の良い鶏だといふて憚らないのです。

産卵数	百四五十個
産卵量	十五匁位
卵殻	赤黄色

プリマス
ロット種

プリマスロット種

本種は今より四五十年前歐米に於て出来た鶏で所謂卵肉を兼ねた實用種であります。一般の體形は名古屋コーチン種に似て一層肥大充實して居り、何處となく高尚な態度をして居ます。羽毛には横斑白色、パフ色、コロンビアン等の數種ありますが嘴と脚とは何れも黄色であります。

右の中横斑プリマスロット種が最も普通で、又最も多く飼育されて居りますが、其他の種類は飼育甚だ少く成績もあまりよくないといふ事です。横斑種は第一

其羽毛が一種の特色を有つて居りますので、非常に人の愛賞を受くるのみならず、比較的丈夫で雛も育ち易く、産卵力も相應に強く、肉質殊に美で、先づ外國輸入の兼用種では最も成績のよい方に入つて居ます。

産卵数	百五六十個
産卵量	十五匁乃至十七匁
卵殻	赤褐

尙一寸御注意まで申上げて置きますが、此横斑といふ名稱に就いて、一方では連斑ともいつて居ます、農商務省などでは何時も連斑といつて居るやうです、實際いふと横斑も連斑も同一のもので、種類や系統に變りあるものではありませぬ。又系統なども或はレーザムとかスミスとかトムソンとか或はホーキン乃至ブラッドレーだとか色々ありますが、其特質特能には別に變つた事が無く、唯斑紋の具合に少しく差異がある位の事です、一體系統が何うちやの、こうちやのと厳しくいふお方があるやうですが、實際の所而く必要で且つ重きを置く程の事も

ワイアン
ドット種

オーピ
ント種

無からうと思ひます。

ワイアンドット種 本種も米國産でプリマスロツク種よりもつと近年に成立した新種で、米國では前種同様に實用鶏として賞賛されて居るやうです。體形もプリマスロツクと殆んど同様であります。此方が稍々小形で冠は蓄薇冠になつて居ます。産卵力も大略前種と變りありませんが産卵期が少し早いかのやうに思はれます。内種として白色、金色、銀色、パフ色、黒色、コロンビア等其他種々あります。

オーピント種 本種は英國に於てワイアンドットと同じ頃に成立した實用鶏で、米國に於てプリマスロツクやワイアンドットが愛養せらるゝ如く、英國では此オーピント種が實用鶏として非常な勢力があります。體形はプリマスロツクよりも一層重大に丸みを帯び、産卵はプリマスロツク種よりは少しく劣るやうですが卵は頗る立派、性質も温和で飼育に都合がよいやうです。之にも白色、黒色、パフ色、斑紋等の數種ありますが就中パフ色は最も強健で本邦風土によく適して居るやうで、實際此點に就ては横斑プリマスロツクに優るとも劣りはないやうで

す。妙な豫言のやうですが、外國輸入の兼用種中將來最も有望なのは恐らくは此オーピント種かも知れません。私も一度黒色のとパフ種を飼つた事があります。而し當時の飼育其宜しきを得ぬ爲めでした。か評判程の成績を得られませんでした。而し今にして思ふと、決してプリマスロツクに劣つて居るやうには想はれませぬ。

四 愛翫用種

愛翫用種としては、各種のハンダムやチヤボ、尾長鶏などでありましたが、實用的には何等の價値が無く、唯華族様のお嬢さん達のおなぐさみものに過ぎませぬから畧します。

一ケ年間
の産卵數

愛翫用種

一ケ年間の産卵數 茲にお断りするのには、一ケ年間に於ける産卵數の事です。世間の人様の話や本などに依りますと、レグホーン種一ケ年の産卵數二百七十個だの、名古屋コーチン種百八十個以上だのと、意外の事を申して居りますが、實際は左様多いものではありません。原産地に於て、或は又二三の特志者の成績は而く多いものであつたかも知れませぬが、さる特別な例を以て其種の通性と申す事

十五羽養
鶏として
き種類すべ

は出来なからうと思ひます。私なども餘程綿密にやつて見ましたが如何な年でもレグホーン一羽より二百七十個は愚か二百個をさへ得た事がありませぬ。で前記各種の説明に擧げて置いたのも實際私の経験から割り出した據り所のある數で、或は識者の御考へに合はぬかも知れませぬが其お積りで御覽を請ふのであります。

(110)

十五羽養鶏として撰擇すべき種類 さて以上申しあげた多數品種の中、

如何なるものが十五羽養鶏として實際的價値を有するものであるかといふ一段ですが、實を申すと私は前記各品種の鶏を悉く飼つて見たのです、斯くして蛇も掴み蜂も掴んだ結果をいふのですが、先づ一般から申すと卵用ではレグホーン種兼用種では名古屋コーチンか、さなくば横斑プリマスロツク位の所ですが、實は横斑プリマスロツクも保険付のものではありません。尤もこれは地方の事情に依つて異なる事とは思ひますが、而し當らずとも遠からずだらうと思ひます。

前回申ましたやうにフレイゲル種だの、アンコーナだのと色々な新種が來て居ますが、此等は夫れ日本から猿芝居が來た日本人祖先のアイヌが來たといつて、一

余の飼育
しついで
る種類と

時歐米の物好連中にもてはやされたと同じ事で、全く實用的價値無き一個の流行鶏に過ぎぬと思ひます。吾等下級輩が一羽十五圓だの二十圓だのといふ虎の兒を出して若し其鶏に病氣でもされて御覽なさい、猫にでも見舞はれて御覽なさい、何程後を見ても夫れ迄の事でありませぬか、而もこんな鶏に限つて得て病氣に罹り易いものです。總じて改良された種類は何に限らず體質の弱いのが一般です、従つて夫れだけ人の注意と保護とを必要とし、斯くして後始めて其改良種たるの特長を發揮する事が出来るものです。日本の如き養鶏の幼稚な處殊に吾等の如き農民共には、逆も改良せられた純粹種など向いたものでありませぬ。だが情ないものは人情で奇を衒ひ異を學び、巧言に乗り易いのは世の常です、而し尙しくも確實なる經營に依り、相當の収益を見んとする吾等同業者は、決して世の廣告や奸商の口車に乗るやうな事あつてはなりません。

余の飼育しつゝある種類と數 私は目下褐色レグホーン十羽と、名古屋

コーチン五羽とを持つて居ます、一層一方の褐色レグホーンに許りしやうかとも思ひましたが、どうしても名古屋コーチンは名古屋コーチンで、前申しあげたやう

な特點がありますので、中々以て捨て難いのです、それに肉は非常に結構なので、夫れ都人が入らしつたなどいふ場合には、第一位の御馳走として居ります。

三 雜種

雜種の價值 雜種を作るのは中々興味あり、且つ實用的の事であり、茲に改めて述べる事としました。申す迄もなく、雜種は甲乙兩種の交子で、例へば、レグホーンの雄に名古屋コーチンの雌を配すると、か、ミノルカの雌に横斑ブリマスロツクの雄を配するとかの類であります。其雜は兩者の性質を受け、時として、は性温和質強健にして産卵多く、而も大卵を産むなどいふ頗る實用向の、却つて原種に優れたものを得らるゝ事があります。而し又之れと反對に、非常な劣等な生産力の無いものも出来る事がありますが、大概は世間の方の申さるゝ通り、七分通り好結果を得られます。

交雜の注意 而し配合すべき雌雄の體量が、夥しく違つて居るやうな場合、例へば、褐色レグホーンの雌にオーピントンの雄を配すると、其雜の發育が非常に不

雜種の價値

交雜の注意

良のやうに思はれます、私も先年管理の不行届からオーピントンの雄と白色レグホーンの雌の交雜卵を得ましたから、一層の事解へして見やうと思つてやつて見ましたが、孵化歩合極めて良く、抱卵十三個中より十二羽の交子を得ました、其色は白と黒で、其斑の具合が極めてよく、非常な好奇心を以て育雛しましたが、遂三十日程の間に全部いけなくして仕舞つたのです。こんな例もありますから、一應御注意まで申上げて置きます。

雜種の羽色と體形

雜種の羽色と體形 雜種の羽色と體形は、何時も妙不可思議のもので、父に似る事もあり、母に似る事もあり、又兩者に似る事もあり、或は全く別種のもので生ずる事もあります。今参考として私が従来やつて見た成績の一例を左に挙げま

父	母	子の體形	毛色	性質	産卵力	卵量	殼色	成熟期
父 白色ノリマスロツク	母 名古屋コーチン	母に似て輕快	色薄き横斑に似たるもの、又之れに稍母の色を加へたるもの	健にして温	中	中	淡褐	中
父 名古屋コーチン	母 在來ミノルカ	母に似たり	褐色レグホーンに似たるもの、又頸部のみ父に似て他は母に似たるもの等	健にして敏	優	中	白色に帯	稍早し

最新副業十五羽養鷄

三、雜種

父	横斑プリマスロツク	母に似たり	父に似て僅かに亂る	體にして敏	優	小	白	早し
母	黒色オービントン	ヤンケ系レグホーン	雜にして全部斃死しました、此時は流石の小生大氣採み。					

まづこんな具合でした。尤も此結果はさる養鶏大家が御覽になりまして前記の交子中前二者の毛色が不思議、殊に第一のもの、毛色は甚だ不思議だと申されました。而し此第一同様の試験を當時私の知友もやつて見ましたが矢張同様の結果でありました。

尙交雜試験に關して、或る農事試験場でやつたといふ成績に依りますと、其成熟の早晚について、一寸面白い結果が表はれて居ます。左に之れを紹介しませう、即ち原種と比較したものです。

成熟の早晚試験

種	類	孵化月日	初産卵月日	初産卵迄の日數
淡色アラマ	(肉用)	五月十五日	翌年一月廿日	八ヶ月五日
白色レグホーン	(卵用)	三月十一日	七月廿九日	百四十日
名古屋コーチン	(兼用)	三月十一日	八月廿七日	百六十日

種	類	孵化月日	初産卵月日	初産卵迄の日數
褐色レグホーン	(卵用)	四月十七日	九月十七日	百五十三日
淡色アラマ	(母)	二月八日	八月一日	百七十四日
白色レグホーン	(父)	二月八日	八月一日	百七十四日
褐色レグホーン	(母)	二月八日	七月四日	百四十六日
名古屋コーチン	(母)	二月八日	七月四日	百四十六日

全く信を置くといふ事も出来ずまいが、兎に角右の表を見ると成績が面白いやうです。私は一代雜種即ち純粹種を一回交雜して出来た鶏が大に利用性に富んだ有望なものであるといふ事を述べて置きます。唯前申す通り雜種を作る上に於て體量が甚しく違つたり、一方非常なる改良種を以て他の劣等種を交雜したやうなもの、大概好結果を得る事が出来ず、又一回雜種は一回に止め、何か特別の必要ある場合で無い以上は決して其子孫を繁殖するものではありません。一回雜種の子には非常に劣變したものが出来るのが通則であるからです。

余の勧むる種類と其數の割合 兎に角私は多くの種類中で、皆さんにお勧めしたいのは、白色又は褐色レグホーンと、名古屋コーチン又は横斑ロツクであります。又數の如きも卵用十羽と兼用五羽と云ふ割合が面白く且つ利のある事と思ひます。或は又純粹の卵用種一雄四雌と兼用種一雄四雌と、一代雜種雌五羽

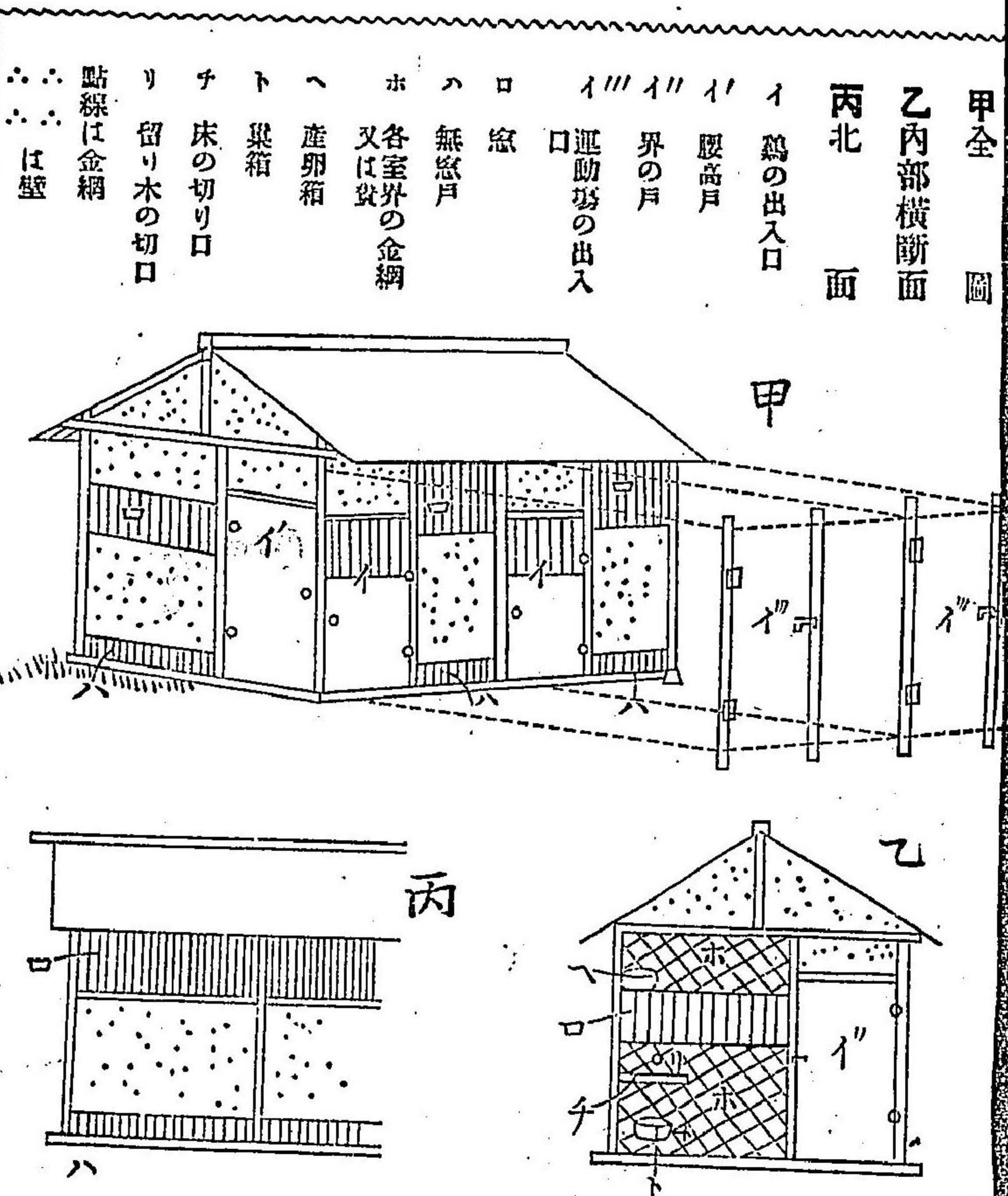
余の勧むる種類と其數の割合

でも宜しいでしやう。同時に種類の数の如きも二種以上に涉つては面白くありません。唯くれぐれも御注意ありたいのは鶏屋の巧言に乗せられ單に外觀上の珍奇麗美に迷はされてつまらぬものに多くの金を費すやうな事の無い事です。又これと同時に決して多数の種類を飼はぬ事です。實際立派な鶏舎でも新設して見ると外觀の美しいものを飼ひたかつたり、弱いと知りつゝ純粹種を飼つて見なくなつたりするのが人情ですから此點は充分慎まねばなりません。實用といふ事を忘れては副業といふものは成り立ちません。

(二六)

四 鶏舎及び運動場

鶏舎 僅か十五羽許りの鶏ですから鶏舎といつても納屋の片隅なり又納屋母屋等の外圍に極簡単に唯害敵に對する豫防に注意して造つて置けば事足れりですが出来る事なら一定の鶏舎を設けて置きたいものです。譬ひ少々の資本が必要であつても一度設けて置いた以上は後々まで安心なもので可愛い鶏の爲め何の位幸福だか知れませぬ。私なども始めはこんな薄利なものに大金をかけて鶏



最新副業十五羽養鶏 四、鶏舎及び運動場

舎などを造つて見ても經濟上駄目なものとして唯納屋の一隅に設けて置きました。が、さて長い間に種々の不便を感じる様になり、鶏の健康上から見ても甚だ宜しくなかつたので種々工夫して見た結果、とうとう鶏舎を建てたのです。さて愈々建てたとなると實以て便利なものだと他日

(二七)

鶏に他が来て止めるにしても物置とか薪炭の置處とか何かに利用する事が出来
ますから是非これだけは建設した方が得策と思ひます。で私は十圓二十圓位の
金は惜まずに一思ひに建設する事を敢てお勧めするので、そこで第一着に心掛
けねばならぬ位置の事から逐次お話し致します。

位置

場所の善悪は鶏の衛生上及び管理上殊に冬期夏期の産卵上至大の影響
を及ぼすものでありますから、最も慎重に考へた上で選定せねばなりません。私
のは宅の東南の方にありまして南面で日當りもよく風通りも善いので、場所とし
ては至極適當の所と自分ながら考へて居ます。夫れに土地が高いので、濕けるな
どの氣遣は毛頭ありません。荷一つ冬期になると舍の北面直後に堆肥を高く積み
ますので、自ら寒き北風を遮るといふ案配ですから、場所としては實に願つたり
叶つたりの地です。

位置撰定の必要條項

茲に位置の選定上注意すべき要項を申上げて置
きます。

- 一 排水宜しく、常に乾燥し雨後と雖も乾く土質なる事。

- 二 南面に向ひ緩斜したる日當りよき場所なる事。

- 三 北面に樹林又は建物其他寒風を遮断し得べきものある事。

- 四 鶏舎の方向は正南を最もよしとし、東南西南これに亞ぎ、其他の方向は凡て
不適當なる事。

右は位置選定上の要項であります。斯くの如き理想の位置は常に得らるゝも
のではありませぬが、唯其時其場合に應じて成るべく此要項に近き所を選び、又は
之れに近づけるやう勉むるのです。例へば北面に遮蔽物が無い場合には、樹木を
植ゑ付くとか又排水の不良なる地には、排水溝を設けるなどして、人工的に改良
するのです。

建造法

唯僅か十五羽ばかりですから左程大きいのも不用ですが、先づ二種類
飼ふのですから、種卵採集時及び育雛時の準備として、矢張二室に仕切つて置く
萬事都合がよいのです。私が實際建築したものを標準として申しあげますと、全
體の大きさは間口二間、奥行九尺として、内部を一間の九尺なる二室に別けるので
す。詳細は圖を参照して戴きたいが、先づ舎の側面の一方と各室の南面に、各々三尺の

出入口を設けます。尤も南面の出入口の戸は全部板戸にすると、冬期の日光が入りませぬから、是非腰高戸にする必要があります。出入口の外は四面共軒下二尺位の所を、一帯に窓とし、土臺の上八寸位を、一帯無窓戸とします。斯く舎の四方に窓と無窓戸にするといふことは、夏期鶏舎の衛生上非常に重要なことです。冬期は窓を張り、夏期は張らずに無窓戸も開放して、専ら風の流入を計るのです。勿論窓の骨の間や、無窓戸は全部開放しても、猫の侵入せざる大さにして置かねばなりません。

次に内部の構造ですが、先づ其境は下部二尺位を細かい簧又は板を打ちつけて、兩互の鶏の顔が共に見えぬやうにし、其他は大目の金網か、各間三寸位を隔てた窓骨、或は竹を打ちつけます。又南三尺の部は、甲室から乙室に通ずるやう廻し戸にして置きます。

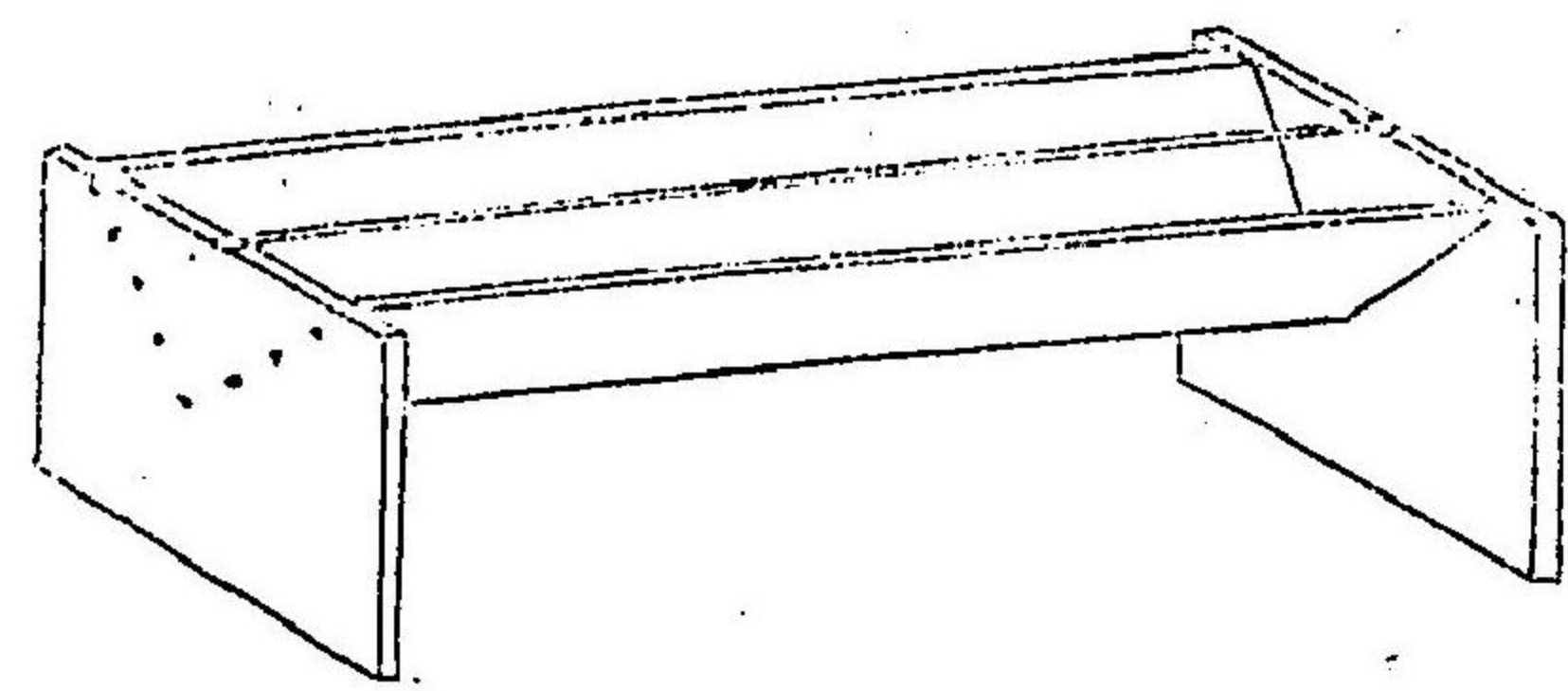
次に鶏の留る處即ち時は、無論室の北側であつて、地上一尺五寸位の所に二尺五寸幅の糞受板を設け、その上に五寸乃至一尺(非用は高く兼用は低く)の高さに、直径三寸位の留木を側壁から一尺二三寸離して糞受に沿ひ横に取付けます、尤も糞受

運動場

や留木は自由に取外し得るやうに蝶番や腕木に取付けるか、何か便利の方法を設けて置きます。又産卵箱を糞受板の下に置き、前側を圍ひ、鶏は後側から出入し産卵するやうにして置くと、箱の中が薄明くなつて、鶏は安心して卵を産む事が出来るのです。茲に又一つ注意するのは、殊に雪國などではさうですが、冬期動もすると、周圍の壁をついて喰ひ破る事がありますから、室の内部全體下部より二尺位の所を板又は簧で被ふて置かねばなりません。

運動場 運動場は直ぐ室の南方から金網で續けて置きますが、長さは各二三間位とし、高さは一間位、尤もレグホーンなどは一問位でも飛び越える事がありますから、網の上に縄でも張つて置くのです。而し近隣に異つた種類の鶏が居ない時である、一方名古屋コーチン等をさへ舎飼して置けば、レグホーンは圍はんでも宜しいです。毎日室の南面の戸口を開けて出してやります。又此金網は冬期積雪ある地方なれば、これも自由に取外しの出来るやうにすると非常に都合のよいものです。でない、一度雪に當てられたら、雪の壓力で臺なしになるものです。尙運動場には桃とか梨とか、何か果樹を植ゑて置くと、盛夏には日蔭となり、一方又空地利

食器



箱 餌

用法 ともなり、一畧兩得になります。

尙鶏舎に關聯したことです。一寸申して置きますが、冬期には室内に糞殻を一面に敷いて温くし、夏は常に奇麗に掃除し、殊に食器などは充分に注意せなければなりません。又種卵採集時が終つたなら、鶏を日中自由に放飼し、夜間は皆一方の室に集めて、一方の室を育雛室にするのです。

食器 終りに鶏舎附屬具として必要なる食器と飲水器の御話をして置きたいと思ひます。食器は簡單なものであると、深さ三四寸の箱で充分間に合ひますが、若し新に造るといふ時になると、圖に示すやうな具合に幅四寸、長さ二尺の板二枚を以て、三角形の槓形のものをつね、兩端に幅五寸、高さ四寸の板を打ちつけて、脚に兼用し、上面の中央に竹か細木を兩端に渡して、鶏が餌を食ひ散らす事の出来ぬやうにするのです。此食器は取扱ひに便利であり、且つ餌が無くなつても常

飲水器

に底の三角部に集まつて居りますから、鶏が啄食するに都合がよいのです。
飲水器 は出来るなら、浅い焼物が最も宜しいのです。折角錢を投じて、鐵葉板やトタン板などで造つても、他日鶏の衛生上から、硫酸鐵などの強壯劑を入れた場合に腐蝕して仕舞ふので、甚だ不經濟に終るものです。尙又鶏がよく此飲水器の中に脚を入れて水を汚したがるものですから、豫め鶏の首が漸く入る位の網か編みに竹を載せて置くに宜しいのです。又ビール瓶などの空物に水を入れ、小形の少し深い皿の上に倒に立て、置くに、飲むに従つて、瓶中の水が出るので、一層妙です。

五種 卵

雜種を作るのが目的なら、兎も角、血統を維持せんとするには、勿論各種を別けて飼はなければなりません。これ迄混飼して居つた鶏から、種卵を採るには、分飼してから、少なくとも十日位た、ねばなりません。或る確實な試験に依りますと、雄を離してから十二三日位迄、受精の形跡が残つて居るとの事ですから、安全なのは二週間後の卵を採る事です。

種卵

種卵に就きての注意

尙種卵に關して注意すべき要項を擧ぐれば次のやうなものです。

(三四)

一 二歳以上四歳以下の健全な雌鶏の産んだ卵で形が整ひ固有の色及び重さあるものを選ばねばなりません。御承知の通り卵の中には殻に縊れ目があったり、非常に殻の厚い所と薄い所があったり、又殻の一部に小さな顆粒があったり、又は格外に真丸なのや細長かつたり小さかつたり等色々の畸形卵が出来ます。こんなのはどうしても孵化力に乏しいやうです。又年齢のあまり若いのも、又あまりに老いたものには無精卵が多く、譬ひ有精卵であつても、雛の發育が悪かつたり、發育中止などとする事もあります。昨年知友のやつた成績を見ますと、種類は名古屋コーチンの雌雄何れも満一歳位の所でしたが、其卵より孵化したのは九割雄でありました。こんなこともありますから、あまり若年の卵も宜しいものではありません。

二 早春の卵には比較的無精卵が多いやうです、私は一寸手数ですけれど、種卵時になると、名古屋コーチンと褐色レグホーンを毎日交代に外に放飼して充

分に運動させ、餌も多少善くして總ての營養状態を良くしてやります、殊に雄が大切です。斯くすると無精卵があまり出来ないうやうです。又早春抱卵せしめた場合に、孵化歩合の割合に少ないのは、單に無精卵の關係許りでなく、氣候の急變する事ある爲め、卵の生活部が害を蒙るのも大なる原因と思ひます。殊に不注意に卵を貯へて居つた時に、胚の死ぬる事が随分あるやうです。又種卵の殻の薄いのは極危険で、時々母鶏に潰ふされます、これなども時々、蠣殻を潰ぶして與へると豫防する事が出来ます、殊に東北雪國の地などでは、冬期蠣殻を與へるといふ事は、管に石灰分の缺乏を補ふ許りでなく、食物の消化を助くる爲めに至極必要なものと思ひます。

三 産卵後時日の経過するに従ひ、其孵化力を減じ、遂に全く孵化せぬやうになりますから、成るべく新しい卵を用ひねばなりません。先づ春秋の候なら十日以内、夏なら七日以内、冬なら二週間以内位迄が最も安全で、冬と雖も三週間以上になつては駄目なやうです。又種卵を貯ふるには、静な温度の激變しない所で、消炭の上又は粗殻の中などに並べて置くが宜しいのです。又譬ひ

上記の日数以内でも爪でコツコツやつて見た時金風のやうな音がしたら最早望みのないものと見て宜しいです。

四 種卵を取扱ふには極めて注意を要し大事にせねばなりません。ひどく轉がしたり急激な振動を與へる事などは絶対に避けねばなりません。遠い所に運搬する場合などには殊更注意を要するもので例へば鐵道便の如きも貴重品同様に『注意取扱』に依らねばなりません。又遠くから來た卵は直ぐ抱卵せしめず可成半日以上靜かに放置して然る後抱卵せしめねばなりません。

五 鶏屋輩が卵の形で雌雄を判別する事が出来るの無精卵が解るのといつて居ますがそれは唯一個の法螺に過ぎぬと思はれます。今日の學問範圍では未だ雌雄の成因が充分解つて居りませぬ而し畜産學の方ではチツリー氏の原則として胚の發育が善かつた時には雌然らざる場合には雄となるといふ事がありますから卵の形態如何によつて多少雌雄の推測は出來まじやう而し之とて甚だ不確實のものです。要するに間違のないといふ雌雄の鑑別は

不可能であります。

六 種卵の純良なるか否か又受精力の強弱などは自宅の鶏舎から採つた場合は無論安全であるが外から購入する場合には販賣者の信用に就て充分吟味せねばなりません。世間の所謂鶏屋なるものは極めて危険です。殊に東京の種禽屋と來ては實にお話にならぬ奴があります。先年萬朝報社なども記事數日に亘つて奸手段を曝露した事もあります。實際私などは直接懇意な鶏屋から聞いた事もあります。こんな案配ですからとても信用の出來たものでもありません。而し残念な事には吾々輩は卵の純否や受精の有無など到底外觀で解りませぬから唯販賣者の信用に任せる外は無いのですが卵の新鮮だけは大概外觀で解りますからせめてこれだけでも見て置く必要があります。即ち先づ日光又はランプに卵を透して見て曇が無いのは新らしいので古きものは卵黄が薄黒く卵白との區別が明らかであります。又殼に光澤なく卵の鈍端部の空氣が入つて居る氣室が小さいのは新らしいのです。多く日數を経た卵ならば内部から水分を發散するので氣室が大きくなつて居ます。

六抱卵

人工孵化
に對する
卑見

人工孵化に對する卑見 表題に先ちて、人工孵化に對する私の愚見を述べて置きたいと思ひます。人工孵化にも種々ありまして支那や埃及では往古から極めて簡単な装置に行はれて居るさうですが、今日最も完全な方法は所謂孵卵器の使用であります。これも初めは甚だ不完全なものでありましたが、學術や技術の進歩に伴ふて改良に改良を加へられ、今日では非常に精巧のものとなり又種の種類もあるやうです。而し何れも世評の如く、廣告の如く、而く簡便なものでもなく、亦而く實用的のものでも無いのです。殊に副業の養鶏などには無用の長物全く提灯に吊鐘です。今日の孵卵器は前述の如く非常に精巧に出来ては居ますもの、未だ完全の域に達して居ませぬ、従つて之れが使用には多大の熟練を要するもので、逆も二回や三回のしくじりでは好結果を收むる事は出来ぬのです。實際私の知人にも、江口式と重枝式の二臺を揃へて四五年以來やつて居ますが、ヤレあの時乾燥したの、ヤレあの時温度が高過ぎたの、イヤ濕氣が多かつたのと何時

も不結果に終り、極上々結果に終つた積りでも僅かに五割位で、大概の年は三割が二割五分位のものでした。よし又孵卵器なるものがうまく行くとしても、結極非常な不經濟のものとならざるを得ないので、何故かと申せば成績のよいものは一臺、少なくとも二十圓や三十圓はするもので、それに高價の石油は絶え間なしに消費されねばなりません、どうして珠盤がとれまじやう、況んやです、精々一春に四十や五十位の卵を孵す吾々の養鶏に、何でこんな厄介なものが使用されまじやう、早い話が鶏肉を裂くに鈍牛刀を以てする物的なものです。譬へば百個の卵を孵す場合としても、名古屋コーチン六七羽も買つてやつたなら、どんなに利益あるか、又どんなに安全であるか知れないのです。

私は重ねていつて置きます、副業の養鶏には孵卵器は全く實用に適しない、母鶏で澤山です、いや母鶏に限りません。私はこういういふ見解を前提として、これから母鶏の孵卵に就て大に話さうと思ひます。

巢箱 先づ巢箱から述べます、巢箱にはいろんな工夫をした面白いのがあります、すけれど、私は藁で造つたのに藁屑を入れてやつて居ますが、これが最も簡便で最

巢箱

も都合がよいやうに思はれます。一般に最もよいといはれて居るのは石油の空箱位を崩して高さ一尺四寸廣さ一尺二三寸の箱を造るのです。箱は底無しで前面は上部と下部に三寸位の板を打ちつけたものです。

抱卵の場所

薄暗い静かな土間が一番宜しいやうです。たゞ夏は涼しく冬は温くして置かねばなりません。無論動揺する所や物の響のする所は不可ません。又出來得るなら外の動物が一切近かぬ所がよいのであります。

私は前に述べました通り鶏舎の各室の糞受板の下に前方席を下げて、一隅に小さな出入口を残し、此中に糞製の巢籠や餌や水などを入れてやつて居ます。斯くすると外部の鶏は此中に少しも注意しませんし、また中の母鶏は安全に抱卵して居ます。

孵化の時期

孵化の時期を選ぶ事は養鶏の成績や利益に至大の關係を持つて居るものです。私の数年の経験から申すと私の地方で最もよいのは四月と思ひます。或は三月中、或は五月中旬までやつても別に差支はありませんが、經濟的なのは確かに四月のやうです。尤もこれは巢鶏と相談でありますが高價を拂つ

て他から巢鶏を買ふなら兎に角です。少し手数をかくれば充分此時期に出來ます。四月孵化の雛は發育が非常に良く、滅多に死ぬやうな事は無いので、又其年の中に産卵するのです。而して三月はあまり寒く、又五月中旬以後になると翌月の梅雨でやられます。殊に品評會に出して見たいなどの御思召なら、四月孵化か、少し夫れより前の孵化物に限ります。こんな具合ですから、まあ四月中下旬に出るやうに抱卵せしむるのです。

巢鶏 元來雌鶏は一年に一二回は必ず巢に就くやうになつて居ます。これは

自然の性能の然らしむる所ですが、唯卵用種許りはそう参りません。これ卵用種は卵専門で巢に就かぬやう改良された結果であります。即ち其就巢鶏を用ひて抱卵させるのは勿論でありますが大抵鶏の就巢するのには四月以後で、即ち氣候一般に暖かになつて卵も一しきり産んだ後にあるやうです。それですから自然のままに任せて置くと、どうも遅れ易いのです。そこで早く巢念を起させる方法を講せねばなりません。其方法は種々あるやうですが、私のやつて効果があつたのを御話すると、十二月頃から名古屋コーチンの方の飼料を良くして置いて、夜間寒風

の入りぬやう成るべく暖かにして置くと、一月中旬頃から産卵し始めます。産卵してから一層餌に注意殊に嚙殻に注意しますと引き續き産みまして、其一期の産卵が止むのが丁度三月中旬頃となり、同時に巢念を催すのです。鶏が巢念を催して来ると、卵殻に石灰質の白色顆粒の着いた卵を多く産むやうに思はれます。

私は三月になると、卵を採つて来る時其代りに模造卵を入れて置きます。斯うやると一層就巢を促がす効力があるやうです。

とに角以上のやうな具合にして幸ひ三羽も出たら、内二羽位は賣却してもよいのです。時期が時期ですから随分價が良く賣れます。私などは如何な年でも二圓より安く賣つた事はありませぬ。

世間では動もすると、ソレ巢鶏が出たといつて直ぐ抱卵せしむる方がありますが、これは極めてよくない事で、一旦巢に就いても又暫くすると止める事など、間々あるものですから、四五日間は抱卵せしめずに見て居なければなりません。又鶏に依つて母鶏としての能力に大小があり、巧拙があるから、これもよく注意して見ねばなりません。即ち體の過大なもの、若年のもの、性質の猛烈なものは母鶏とし

抱卵せしむべき数

多數同時に抱卵せしむる利

て不適當です。體質強健性質温和で五六百羽位のものを選ばねばなりません。又出来れば一回経験のあるものであると一層成績がよく行くのです。

抱卵せしむべき数 母鶏の大小、又卵の大小に依り多少の相違はありますが、普通十三個位が最も善いと思ひます。實際私は十三個づゝやつて居ますが、若し都合上四月下旬に抱卵せしむるやうな場合には、十五個位でも差支へが無いでしやう。三月下旬や四月上旬に抱かするには、決して十三個以上やるものでありません。

多數同時に抱卵せしむる利 抱卵の場合は成るべく二羽以上一度に抱かせること、萬事都合がよいので、雛賣却の目的を以て多數の卵を孵す時など尙更です。實際日数を違へて二羽以上をやると、後日孵化してから非常な手数を要するものです。又同時に抱かして都合のよい事は、検卵の後無精卵を除いた時三羽分を二羽に集める事が出来、其明いた巢鶏には又新たに抱卵せしむる事が出来るやうな具合で、至極経済的なものです。巢鶏は十日位待たせて置いても、擬卵をさへ入れて置けば、放念しないものです。

又最初巢鶏を箱に移す時や故ありて巢鶏を他に移さねばならぬ場合には、可成夜間を選ぶが宜しいのです、眞晝間移すと間々放念する事があります。

(四四)

七 抱卵中の管理

巢鶏の飼料

巢鶏の飼料

巢鶏には御馳走して置かねばなりません。一般巢鶏の性として柔軟な餌よりも寧ろ固い餌を欲するやうです。で、まあ毎朝静かに巢鶏の居る場所に、新鮮な水と上等糞青味魚屑等をやり、而し寒い朝には冷水より寧ろ微温湯がよく、又魚屑の如きは無くとも差支へありません。又巢鶏は必ず一日一回巢を離れ運動したり、食事をしたり、又脱糞したりしますから、其間に卵を検査して置かねばなりません。即ち抱卵中には誤つて卵を潰すやうな事もあり、又お行儀の悪い奴は座ながら脱糞する事等あつて、ひどく不潔になる事があります。こんな場合には湯手拭で一々卵を大事に掃いてやらねばなりません。巢を出た鶏は充分に食を求め、前後二回の脱糞を終つて又巢に歸るものです。斯く一時巢を離れ卵を一時放冷するといふ事は、卵の發育上必要な事ですが、時間が長くなるといけ

ません。夏でも三四十分冬なら二十分を越えては卵の發育に害がありますから、何時迄も這入る様子の見えない場合には、静かに巢の中に追ひこむのです。決して鶏をつらまへて無理に入れてはなりません。而し又個性に依つて全く前と反對に、抱卵熱心の餘り一寸でも巢を離れぬものがあります。これも亦孵化に害がある事ですから、一日一回は必ず出してやらねばなりません。出ると大抵自ら食事をし、程経て再び巢に歸ります。

又必要があつて巢鶏を動かさんとする時は、静かに母鶏の兩翼の上から兩手で抑へ、他に移すか、又は伏籠の中に入れるのです。又往々にして母鶏は其翼の中に卵を入れて置く事がありますから、静に取り扱はねばなりません。尚又種卵が重なり合つて居るやうな事があつて、初心者には心配を掛け易いことがありますけれど、敢て差支へありません。かまわぬ方が宜しいです。

検卵

斯やうにして五日目の夜第一回の検卵をやり、先づ強光なランプ(自轉車ランプ)が一番宜しいが、普通五分又は三分心のランプでも宜しいに照して卵の内容を覗ふのです。而しこれも初心者には唯覗つても仕方ありませんから、

検卵

豫め馬糞紙を卵形に切つたものに當て、見ます。今若しこれが有精卵で發育したもののなれば、赤い血脈が中央の黒點から恰も蜘蛛の巢のやうに四方に放出して居るのが見えます。これもブリマスコツクやオーピントンのやうな赤殼の卵なれば、一寸見にくいのが白殼のものなら能く見えます。此際若し此脈が無くて中が透いて見えたら、それは無精卵ですから取り除いて、風當りのよい場所に放冷して賣るなり、食ふなりするのです。

次に十日目頃第二回の検卵をやらねばなりません。此時見ると、無精卵で見誤つたものがあつたら、尙明らかに透いて見えますし、發育中止したものは血管が亂れて、或は圈狀に集合し、或は黒條になつて居ります。こんなのは勿論取り除かねばなりません。往々初心者は所謂『若し蚊』に喰はれて残すやうな事もあります。けれど、斯くては雷に徒爾のみならず、他の卵の受温を妨げ發育の邪魔をするものであります。

尙最後に第三回の検卵をやるのです。勿論此第三回検卵は不必要であり、時とすると卵を手はづして破壊せしむるやうな事もありますから、寧ろやらぬ方が宜し

いのですけれど、唯初心の人は往々にして卵を見誤り發育中止其まゝ残すやうな事がありますから一寸附加へて置きます。即ち十五日目頃にやるので、此時發育中止のものは全部混濁し氣胞は常に卵の表面に表はれます。又發育良好のものであれば、氣室部が益々大となり、時として卵の三分の一位となるやうなこともあります。

給濕

給濕 卵の孵化には必ず適度の濕氣が必要であります。土間の上に直ぐ巢箱を

置いた時や、四月頃の氣候になると左程心配もありませんが、巢を高い所に設け置いた場合や、早春の乾燥した季節などには水分不足の爲めに孵化を誤ることがあります。こんな時には大抵第二回検卵頃から母鶏の出で居る際又は夜間給濕するのです。夫れは成るべく卵に直接かけずに、卵の下の布糞又は卵の周圍の部分に霧吹を用ひて微温湯を吹きかけてやるのです。又百二度位の温湯に五分間位も浸し、後よく乾いた手拭で掃いて入れて置くと、孵化が容易になるものです。而しこれはどちらかと申せば危険に屬する方ですから注意してやらねばなりません。又非常に寒いやうな日にはやつてなりません。

放棄及び
その原因

放棄及び其原因

(四八)

一度抱卵の経験ある鶏なれば餘程熟練して居ますから全部任せて置いて安心ですが、まだ熟れない鶏や馬鹿な鶏ですと、折角四五日抱いたのを何かの動機で中止する事があります。斯んな場合は何んとも處置の出來ぬ唯夫れ絶望ある許りですが、時とするると羽虫の爲めや又餌をやるのを忘れて仕舞つた爲め、非常な空腹を感じ、或は場所を替へたといふやうな原因で放棄するやうな事があります。斯る場合にはよく其原因を調査し、巢鶏に對しては相當の適當をなすべく、又一方卵に對しての處置を取らねばなりません。五日目位の所で一晝夜位放任したものなれば、直ぐ百度位の温湯に三十分位を浸し、後再び抱卵せしめ籠で被ふて置くのです。

鶏は又よく砂浴を好むものです。伏籠又は巢箱から出ると直ぐ砂浴の爲め屋外に行かんと欲するものですから、斯る場合には懸念なく室外に出してやります。砂浴は畢竟是れ吾等の入浴して體を清潔ならしむると同様で、又一面體につく寄生虫驅除の有力なる方法です。

羽虫又は虱の害を除くには、除虫菊が一番効果があります。で驅除にも豫防にも、

孵化の時

除虫菊粉一分に木炭九分位を加へて、一晝夜間密閉し置いた粉を母體の羽毛の中や巢の中に撒布して置くこと宜しいやうです。若し此粉が無かつたら硫黄華でも宜しいものです。

孵化の時

斯様に注意を拂つて居ると、十九日目頃には卵を爪先きで靜かに打つて見ると、眞實殻らしいバチバチといふ聲がして、又幽かに内部で鶏の動く音や鳴く聲が聞えます。廿日目頃から先づ卵の表面一部に傷が出來、其後四五時間に嘴と體力とを以て殻を二ツに割り、内部から可愛らしい雛が顯れます。勿論殻から出た當時は、羽毛が濡れて醜いが、一時間経つと羽毛も全く乾いて、ピョ／＼鳴き出します。凡そ養鶏中で此時と初卵を産んだ時ほど、楽しい嬉しい事は無いのであります。

養鶏の樂
しみ

時とするると殻が餘り厚い爲めか、又は雛の力の足らぬ爲め、殻に傷をつけては見るもの、全部破つて出る事が出來ず、二十時間以上殻の中にピョ／＼鳴いて居るやうな事があります。こんな時は是非手傳でもしてやらぬと、遂に力盡きて死んで仕舞ひます。勿論此手傳は充分の注意を拂ひませぬと却つて害を成す事がありま

す。即ち先づ鈍端に近き傷の部分に静かに割つて、鈍端半分位は残して置かねばなりませぬ。夫れは殻下の薄膜にある血管が未だ雛の腹部から切れずに居る事があるからです。若し此注意なくして妄りに全部を破つたなら雛の出血止まずして遂に死んで仕舞ひます。不幸にして斯る惨劇が演じられたら直ぐ其出血部にタニン酸でも塗布して置かねばなりません。勿論前述の手傳は唯破卵に困難の状が見えた時に限るので、普通の場合には断然やつてはなりません。

初心者の注意

初心者の注意 これで孵化の一段落を告げますが、尙初心者に對して深く注意すべき事は、必要以外妄りに巢鶏に手をつけてはならぬといふ事です。實際初心者は餘りに心配して、一日に二度も三度も巢鶏に御見舞して、或は卵を改めて見たり、或は動かして見たりしたがるものです。これは極めて悪い事で、これが爲め巢鶏は不安の念を生じ、遂に放棄して仕舞ふ事が間々あります。

孵化の成績

孵化の成績 如何に綿密に注意してやつても、種々鶏の種類や氣節や産卵鶏の境遇、其他種々の事情に依つて孵化の成績を異にするのであります。實際此等の事は致し方の無いものです。其中種類の關係に就き某所で試験した結果を舉

げ、其邊の消息を紹介いたします。而しこれを以て其標準にするといふ事は無論出来ませぬ、唯單に参考に供するに止まるのです。

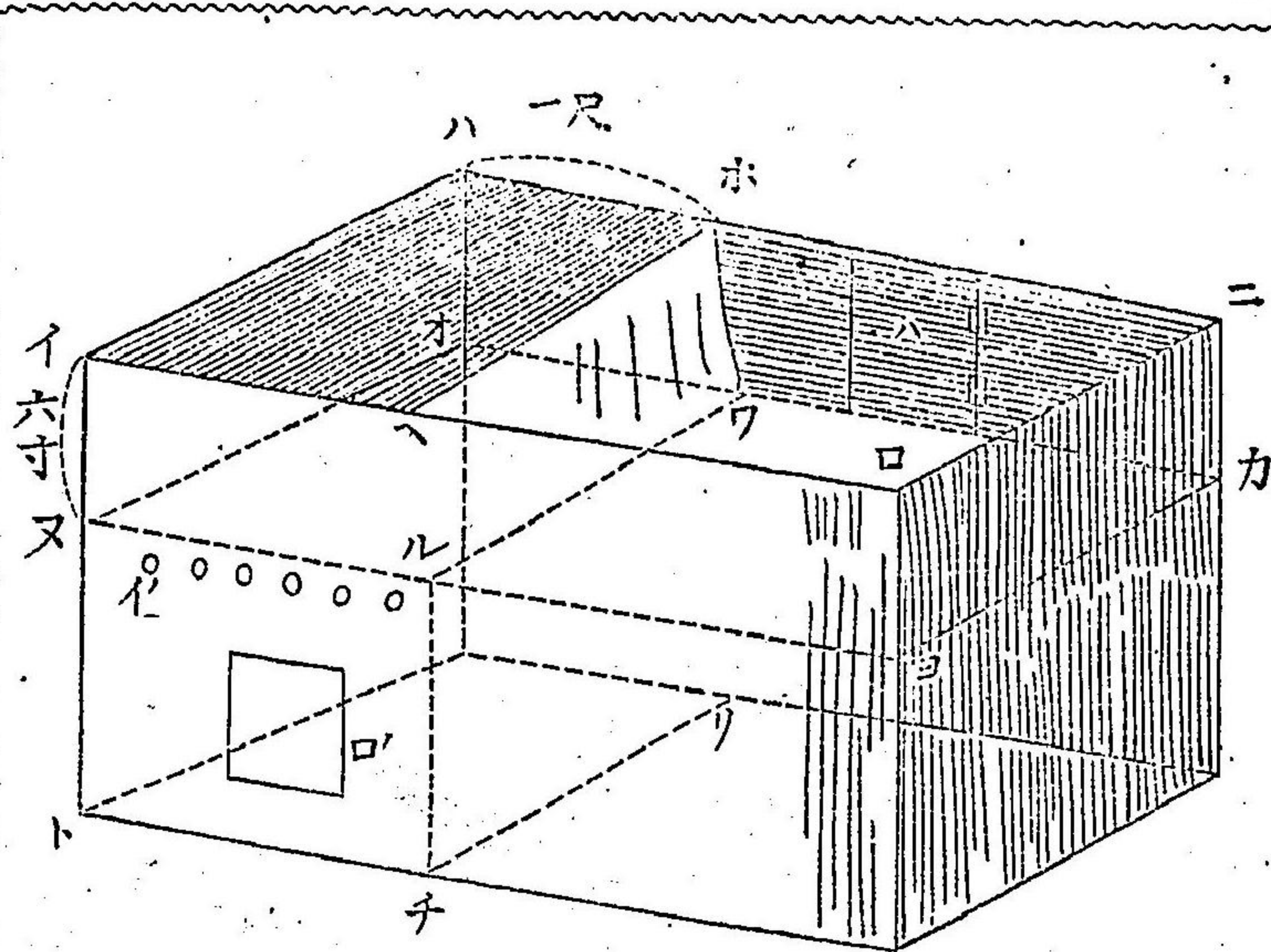
種 類	用途	抱卵數	無精卵數	破損卵數	死籠卵數	孵化數	抱卵十個に對する孵化歩合
ブルマスロツク	兼用	三八	二	一	〇	三五	一〇、〇
ミノルカ	卵用	三一	五	〇	三	二三	八、八
アングルシアン	卵用	九	二	一	二	四	六、六
白色レグホーン	卵用	六三	五	三	四	五一	九、三
褐色レグホーン	兼用	四二	二	二	四	三四	八、七
名古屋コーナシ	兼用	四一	四	三	四	三一	九、一
名古屋コーナシ	兼用	四五	一	三	一〇	三一	七、五

てな案配であります。が、孵化歩合を平均して見ると、大略八割六分弱に當つて居ります。尤もこれは熟練した技術者が、孵卵器でやつた成績であります。若し母鶏でやるとしても此位は大丈夫と思ひます。

八 續 座

續座の利益 私此續座といふ事を除りやりませぬが、それでも時々やる事があり、これも経済上から見ると得策な事であり、母鶏側となつて見ると随分苦痛な又残酷なわけで、若しやるとすれば充分御馳走をやつて置かねばならませぬ、で無いと種々の病氣を起して斃死する事が少なく無いのであります。結り續座と申すのは、一回卵を孵化させて、其場で直ぐ二回以上孵化させる事です。即ち雛が生ると順次其雛を母鶏より奪ひ去り、全部孵化の終るまで一羽取れば一個の擬卵を入れ置いて後更に新らしく孵化せしむべき卵を入れるのです。此際雛は其鳴き聲の届かぬやう母鶏より遠く離して置かねばなりません。其處に來ると鶏は随分馬鹿度胸のよいもので、雛を奪はれても平氣の平左で巢に居るものです。

簡易假母器 斯うやつて取つた雛をどうして置くかと申すと、同時期に抱卵した母鶏に托するか、或は假母器に入れて人工で育てなければなりません。さて其假母器は主業的に養鶏を商賣して居らるゝお方などは完全な高價な器をお使ひになりますけれど、私共は眞の假母器と申す位のものでやつて居ます。御参考



最新副業十五羽養鶏

八、假座

口入挿 プンラ (ロ) 抜氣 プンラ (イ)

のため、その自製假母器の構造を申しました。即ち先づ専賣局のはぎ煙草の空箱を買つて来て、これを上部から六寸の深さに仕切るので、委しい點は上圖を参照して戴く外無いのですが、又ルオワの部は鐵葉板で張り、又其上部一尺位の所はイへホハの板を以て被ひ、其前縁ホへの部分には布の暖簾を下げます。又ルヲワカの部分には普通の板で床を拵へて置きます。斯うやつて半分は温室、半分は食堂兼運動場に當てゝ置きますが、尙鐵葉板の上には八分角位の木柱で框を組み、其上に簀を載せ、尙其上に蘆を敷き、鐵葉板の下から豆ランブで暖むるのです。又温室の中には前年

の葦の穂を貯へ置きてこれを入れてやると雛は此穂の中にもぐり込んで居るものです。此簡易假母器にて特に注意せねばならぬのは動もすると鐵葉板を張つた間隙から豆ランプの油煙が洩れて温室の空気を不潔にする事がありま
すから此處は充分に目張をして決して洩れぬやうに注意せねばなりません。又
運動場の床面には常に切藁又は初穀を散布して置き毎朝それを取り換へねばな
りませぬ。

賣物の假母器には五圓位より三十圓位までありますが前記の孵卵器同様の理
で、十五羽養鶏としては敢て必要がありません。

續座の方法

とに角私は、毎年三羽の集鶏が出来ますと、一羽は相當代價に賣
却し、他の二羽に二十六個の種卵を抱かせますが、破壊や無精卵や發育中止等の爲
め二十一二羽の雛を得て居ります。そこで一方の母鶏には將來更新用に供すべ
き良鶏をあづけ、他の雛は直ぐ賣却するを以て、孵化後羽毛の乾くを待ち假母器に
入れるのです。後は前項に話しました通りにやるのですが、尙念の爲め新鮮卵を入
れぬ中、即ち擬卵を抱かせて一寸放念するかせぬかを見ねばなりません。

茲に尙一つ注意を要するのは、甲の母鶏の雛を乙の母鶏に移す事でありませぬ。
生後三四日を経ると母鶏も雛も互に相知つて、母鶏が違ふと羽毛に入らんとせぬ
ことがあり、繼母は亦繼母で、全く繼子扱ひにする事があります。殊に兩母鶏の雛の
毛色が違つて居るやうな場合、此現象が起り易いものです。そこで生れたなら直ぐ
取り換へて、早く移して置くと宜しいのです。夜間静かに入れて置くと、大抵心配
がないやうです。

尙又最後に特に注意を要しますのは、前申す通り續座と申す事は極殘酷な事で、
非常に母鶏の體力を衰弱せしめるものです。是非餌を良くして置かねばなり
ませぬ。即ち上等糶を充分水に浸して與へ、時々動物質飼料や青味又は新鮮な水の
給與を忘れてはなりません。尙糯米の碎米や、或は其玄米などを少量やる事は極
めて宜しいものです。

九 断巢

これは鶏の巢念を断たしむる事で、四月下旬より五月下旬頃までは所謂春の草

卵と稱しまして折角産卵する時期ですから、其期の終り頃には、大概の兼用種や卵用種の或る物は巢念を催して來ます。今此等の巢念を断ち、又時ならぬ時に起す巢念を断たしめ、再び産卵せしむるには如何なる方法を取るか、實際此事に對しては私も困つて居ますし、又一般世間のお方も随分閉口して居らるゝやうです。

從來私も斯道の人から種々の事を聞きまして、種々な事をやつて見ました。其内で仕事が随分滑稽で而も奇効を奏しましたのは、巢鶏の尾に鮮かな色紙又は色布を細くして稍々長く結び付け置く事です、これを巢鶏が見つけますと後に何か怪物でも居るやうに恐れを生じ、又頗る不安心でたまらぬと見え、奔然として巢の中より飛び出します。さて出ては見るもの、身後の魔物は猶去りやらず、ヒラヒラして追ひ掛くるやうに見えますので、其驚きは一通りでない、一分間は愚か一秒時も静止して居りませぬ、西に、東に、左に、右に、只走る一方傍で見居るも滑稽であり且つ氣の毒のやうです、斯くして赤に慣れると青青に慣れると黄といふ具合に色を取り換へます。斯くして居る間に次第に巢念を断つて來るやうです。

又交尾の強い雄鶏と一所に一間四面位の所に入れ置くと雄鶏が絶えず交尾を

求めて追ひ廻すので、自然巢念を断つといふ事も聞いた事があります。

時とするとき強硬手段で、巢鶏を土間に伏籠を以て二晝夜位断食のまゝ被ふて置くと、か二十分位其腹を水にて浸すとか、或は巢の中に杉の葉を入れて置くとよいなど、申す人もあります。

一〇 育雛 (その一)

さて三七二十一日の大願成就して、茲に生れた雛の事ですが、これを良く育てると否とは、やがて蛇を掴むか蜂を掴むかの別るゝ所です。二十三日も経つてやつと出た雛や、産卵後二週間も経つた卵から孵化した雛や、又老鶏が生んだ卵乃至不法雛法に依つて出た卵から出た雛等は、どうしても初めより雛が弱く發育が悪いものです。そして弱い雛は一層思ひ切つて初めから育てぬ方が宜しいのであります。

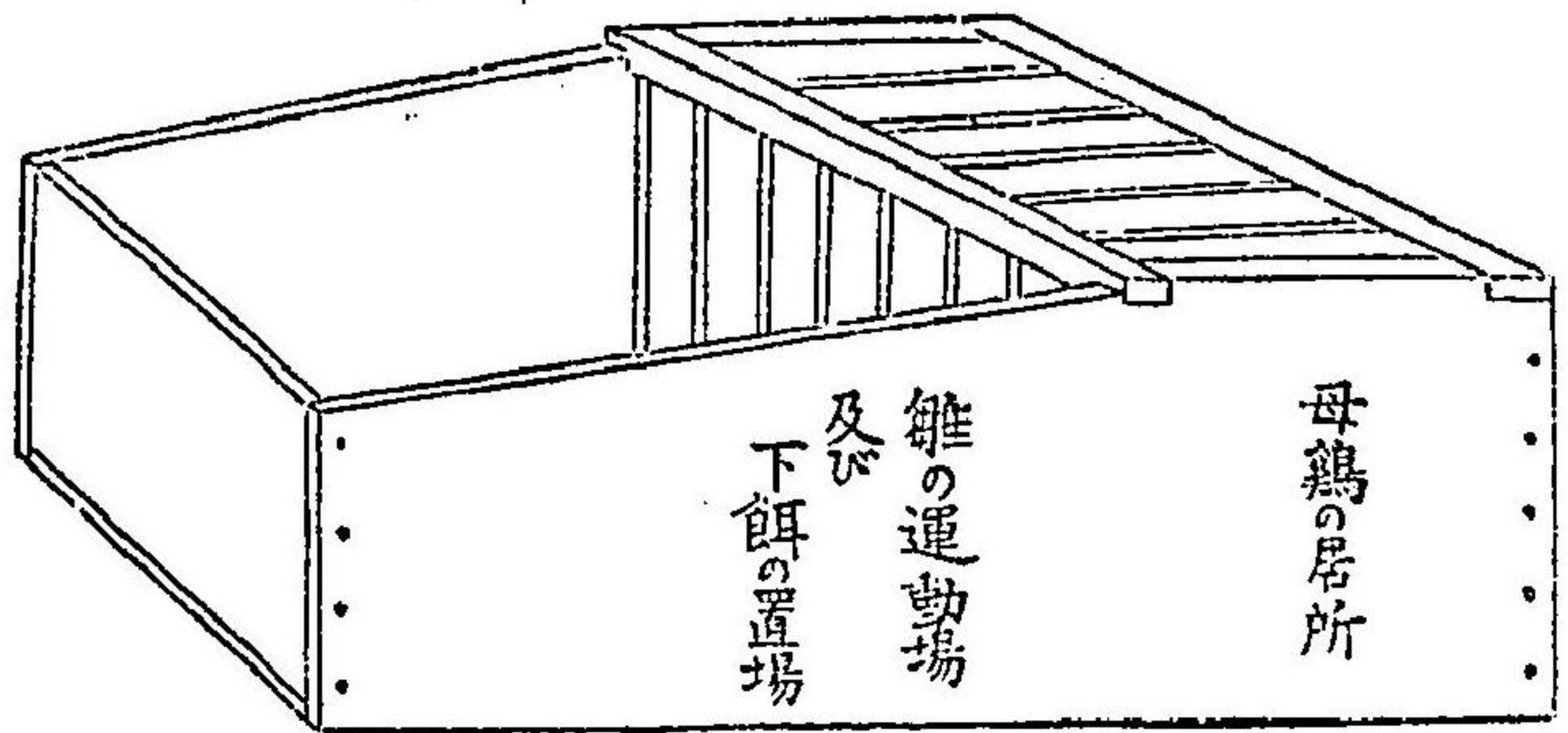
自然飼育と人工飼育

雛を育てるに最も安全で、又最も手数の抜けるのは母鶏につけて置く事です。即ち母の體を屋根とし、母の羽毛を布圍となし、母の體

温を火箱とし、寒い時にはもぐり込み、暖い時にはもぐり出で、餌にも水にも一々母が采配を振つて居る、其親切なる事、下等人民に優る事数等ですが、ともすると殊に放飼して置く時、母鶏が愛兒に美餌を探し與へんとする熱心より、自身の疲るゝ事をも忘るゝ迄、彼地此地に孵化したばかりの熾弱な雛を引つぱり廻すので、少し弱い雛は餌どころの騒で無く、唯是れ親を失ふまじと、親の後から鳴きながら追ひかけつゝあるものです。此等の弊害を除かんとするなら、矢張り假母器に入れなければなりませぬ、また時として止むを得ず假母器に入れなければならぬ場合もあります。例へば愈々抱卵の孵化當日になつて、四五羽の雛が出てビヨビヨ鳴くと、母鶏は此雛にのみ心を奪はれて、残れる種卵のあるを顧みず、生れた雛を連れて巢を出るやうな事があります、又経験なき母鶏は、餘りに生れた雛を大事がり、却つて踏み潰す事などもあるものです。斯る場合には是非假母器を備へ、雛を母鶏より離してこれに入れなければなりませぬ。又假母器は少し熟練すると、母鶏に托するよりも成績のよいものです、それに母鶏をして早く再び産卵せしむる事が出来るといふ利益もあります。

人工飼育

種一の箱雛育然天



人工飼育 さて若し假母器でやるとすると、生れて一晝夜位経つて毛も充分乾き、雛の體勢が整つた所で器に移すのですが、勿論それまでは餌を給與する必要は更にありません。假母器に入れる前には豫め器の下から豆ランプ(一個或は二個)を燈し、室内を温め置く必要があります。先づ室の温度を九十度前後にするのです。三日目頃からは晝間は寒い日でもなく、敢て點火する要なく、戸外の陽光に當れば充分で、唯夜間だけ點火します。殊に夜明け方は一層寒氣を増す刻限ですから、此時分に火の消ゆるやうな事があつては大變です。斯くして一週日も経ちますと、雛も中々強壯になつて五寸位の高さを飛び超えるやうになりますから、假母器の出入口を開き、放し板を斜めに立てかけて、自由に外に出入する事の出来るやうにします、而して一方温室の温度もだんく低

めて常温に近づけて行くのです。假母器で育てた雛は随分よく人に馴れ親んで、一層可愛らしいものです。

天然飼育

天然飼育

母鶏でやるには、先づ運搬に便なる横一尺八寸縦三尺、高さ二尺二寸位の雛箱を造り、前方を猫の脚の入りぬ位な金網となし、側面又は前面の一方に出し入れする口を開き、尙内部には高さ五寸位の所に横木を打ちつけて置き、又下部には一面粉殻を敷いて置くのです。

雛の飼料

雛の飼料

餌は生後二十四時間或は三十時間以内給與する事は、断じて禁せねばなりません。これ單に益なきのみならず、却つて弊害を來す事があるからです。雛が孵出する時に卵黄の殘部を腹に入れて來ます、二三十時間は其貯藏養分で養はれて居るものですから、敢て餘計な心配をせんでも、飢ゑるといふ氣遣はありませぬ。で先づ三十時間も経つたら、十二羽の雛に對して、煮熟したる卵の卵黄二個若し鶯の卵黄なら一個半位を充分細かに刻み與へ、翌日も亦同様にしてこれに青味の極細かに刻みたるものと交へて給與するのですが、水だけは與へません。飼付後三日目からは碎米の細かなるものを充分水に浸したるものに、前記の青味を

混ぜたものを與へます。卵は最早必要ありません。尙四五日間は炊り豆の粉を少量入るれば更に結構です。

斯くして四五日目からは右の餌の外、別に下餌又は副餌として、鱈を程よく焼き、細かに刻みて蒔き與へます。世間には生のまゝ切つて與へる方もありますけれど、斯うすると時として病氣の原因となる事があります。尙鱈が無かつた時は他の河魚又は鹽分の少なき海魚でも宜しいが、出來るなら鱈です。鱈以上のものはありません、たゞこれ等を料理するとき、骨を抜いたのではいけません。骨は體の薬ですから。

右のやうな美餌をやると、母鶏をつけて置いた場合、母鶏は其美香に堪へ兼ね、三口に二口位は失敬する事もあり、甚だしき場合には雛を蹴散して迄、其慾望を逞しうする事もありますから、箱内を工夫して雛ばかりが食ふやうにせねばなりません。尤も母鶏も亦抱卵から引きつゞき、育雛の爲めに疲れて居ますから、別の器に滋養分あるものを入れて、體を恢復させてやらねばなりません。

水は四五日或は一週間も経つてから與へます、殊に梅雨期に生れた雛などには

一週間以後にやるのは雛の健康上却つて安全かと思はれます。

給餌法

一日間に何回餌を與ふべきかといふ問題も一寸必要ですが、先づ給餌の方法から述べることゝしましやう。假母器で餌育する場合には、餌付の初回は小皿の中に餌を入れて飼育者自から口笛を吹きながら、指先で皿の中をトンン叩いてやるのです。すると雛は知らず／＼温室から出て来て、食べる事を覚えてきます。尤も雛は本能的に知つて居るものですけれど、初めから口笛を以て食事の習慣をつけるのは極めて面白い事で、他日親同様の大きさになつても、口笛をさへ吹けば直ぐ集合するものです。次に三日以後碎米をやるやうになつてからは、單にこれを餌箱に入れて置く許りで無く、運動場にも少々撒いてやるのです。母鶏でやる場合も前同様ですが、唯前申す通り美味の下餌をやる時こそ、充分注意せねばなりません。此目的に向つて造つた雛箱の構造を擧げて置きます。

さて次に回数の事ですが、無論これは一回に給與する分量如何に依つて違ふので、一概に定むる譯に参りません。要領としては始めは極少量づゝ回数を多く與へ、成長するに従つて回数を減じ、量を多くするので、又一週間以内は可成飽食せ

しめないやうに注意するのが頗る肝要な事です。實際餘り稚雛に多食せしめますと胃腸を傷ふ結果、一週間位で病雛を續出するといふ事は、世間の方のよくいはる事です。そこで碎米の如きも初めは十羽に對し僅かに二勺五才位、翌日に五勺八才、八日間にして一合、三週日を経て二合五勺といふやうな具合にやらねばなりません。こんな事を申すと如何にも杓子定規をあてがつたやうですが、勿論必ずしも蠶業學校の稚蠶飼育といったやうな具合に、一々秤量するといふ譯ではありませぬ。唯斯くの如き積りでやればよいといふまでです。

更餌法

兎に角生後五週間位はこんな具合にして、それ以後は鱈の代りに干魚又は鯡屑を細かに切つて與へ、一方又碎米の量を減じて上等糞を充分水に浸したものと更へるのです。或は前述の魚屑を煮出した煮汁に、上等糞を入れて糞と煮て糞を軟かにし、これに青味の刻んだものと米糠又は麩を入れ、練餌宜しくいつて與へると宜しいのです。

茲に又注意を要するのは碎米から糞に更へる時でありまして、決して一時に全部を取り換ふるといふやうな事があつては成りませぬ。此處は彼の家畜の斷乳

と同様ですから、一週間或は二週間も費して一方碎米を減じ、一方糞を増すやうにせねばなりません。

尙最後に、一つ申し述べて置きたいのは、稚雛に練餌を與ふる事です。元來練餌なるものは、動植物質を程よく配合して、思ふ儘に滋養を附加し得る事と、比較的安値に上るといふ得點があるので、雛の飼育に往々使用せらるゝのでありますが、材料の如何に依り、餌に粘りがついて、雛の胃を害する事がありますから、餘程注意してやらねばなりません。夏分などは朝に造つた練餌が午後になつて腐敗する事が多いから、特に注意を要します。で成るべく練餌は十五日以後になつて與へた方が宜しく、原料も碎米または大小麥、玉蜀黍の粗粉、糠などをを用ふるのがよろしいのです。

一 育 雛 (その二)

放遊

放遊 次に一般の取り扱ひに就いて大體の所を申しますと、最初の一週間は決して廣い場所に遊ばしてはなりません。一週間以後となつたら、舎の金網の中

か、又は四坪程の場所を賃にて圍ひ、雛箱の戸を開いたまゝ、其中に入れて置きます。三週以後となつたら、母鶏の必要もありませぬから、母鶏と離し、午前中は其運動場の中に入れ置き、午後三時頃から飼育者の監督の下に、外に放すのです。

放遊せしむるといふ事は、育雛に極めて必要で、其目的は露地の自由運動に馴れ、且つ昆虫其他の小虫類を捕食せしむるにあるのです。充分監督に注意し、出来るだけ草叢や田圃の中に放つのが宜しいのです。前に申した口笛習慣などは、こんな場合に極めて都合のよいものです。次に人工で虫を作る事や、食物を作る事を述べましたやう。

虫類の作り方

虫類の作り方 虫の作り方にも種々あるさうですが、私の最も面白いと思つてやつて居るのは、地面に深さ六七寸の穴を掘り、濕つた腐敗に近い掃き溜を穴の底に敷き、此上に米糠を散布して、又其上に掃き溜を重ね、かく層々積み重ねて、地面の高さ迄に成つたら、菰か蓆の類を被ふて、毎日米の洗ひ水を注ぎます。斯くして置くと、數日間に種々の小虫が発生します。こんなものを數ヶ所に設け、毎日雛を此處に連れて、此中の虫を喰はせるのです。これは雛の稚い時ばかりでなく、大き

く成つてからも宜しいのは勿論です。又夏の末頃などには田圃に石油鍬のやうなもの地面と平に埋め、其上に刈草のやうなものを積み重ねて置くと、多数の昆虫が此中に落ちて居ますから、これを手づから捕へて與へるのも面白いものです。尙又穀類の發芽したものなども雛の喜ぶものですし、又實際滋養分にも富んで居りますから、これも前同様先づ地面を潤ほし、諸種の穀粒を撒布して其上に菰を被ふて置くと三日位で萌發しますから、こんなのを敷ケ所に作つて置いて順次これを與へるのです。尤もこれは生後二週間以後の雛にやらねばなりません。尙一日中の仕事をかいつまんでお話しすると次のやうなものです。

一日中の管理

- 一 早朝餌を與へ、後水を給する事。水は鐵水と申して、古釘のやうなものを入れて置いた水をやると宜しいのです。三週間以後の餌には貝殻の潰せるものを入れて置く事が必要です。
- 二 陽光暖かなる日は、雛箱を戶外に出し、室半面を直射せしむる事。但し寒い日には、舍内に置く事勿論です。

- 三 午後閑な時を見計らひ放遊せしむる事。
- 四 其間必らず箱内を検し汚れて居れば糞掃除をして乾燥せる糶穀又は切り薬を入れ置く事。
- 五 夕方雛の餌袋を検査して食物の過不足を見、クヤクヤして軟かなる時は更に餌を與ふる事。

一二 育雛 (その三)

雛の疾病 茲に雛の病氣といふ事に就いて、少し述べたいと思ひます。由來鶏の病と申すは、多く管理者の不行き届から起るものですが、殊に雛の病は全く左様です。で管理さへ充分に行き届いたら殆んど疾病なるものを見る事少なく、従つて醫師や薬の必要もないものです。今其不行き届に依つて起る病氣の最も普通なるもの二三に就て申しあげませう。

△下痢

下痢症は動物質の餌を多量に與へたる時、暴食せる時、食餌を急激に更へたる時、

氣候の不順なる時腐敗せる餌を給與せる時等に起る病氣です。
(六八)
症狀は原因の異なるに従つて種々ありますが、一般には先づ初め液質の糞を排泄し、病勢進むに従ひ赤色の肉汁のやうな糞をします。斯くなると羽を下げ首を縮め、體力衰耗して目を閉ぢ、一週間以内に斃死します。
治療法としては、先づ病雛を乾燥温暖の場所に移し、消化し易き餌例へば燻で卵の卵黄の如きもの、澱粉を卵白で練つたもの等をやり、藥品としては大黃末の少量を施し、一方水には明礬又は石灰水の少量を入れて與へます。
だが、一度強い下痢症にかゝつては中々癒らぬもので、赤色の糞を排し、羽を下げ、首を縮めて目を閉ぢ、鶉の出來そ、いなひのやうな格構になつたら、もう大抵駄目なものです。

▲嘔瀉加答兒

病原は腐敗性の粘氣ある食物を與へたる時、又は多量の食物を攝り、消化不良のため嘔瀉内に醗酵を起せる時等で、殊に多濕の候に多いやうです。
症狀は嘔瀉がポヤリツと膨れて瓦斯又は悪臭ある透明な液を充し、雛は前病と同じく羽を下げ、首を縮めて食を取らず、不活潑となり、二三日にして死んで仕舞ひます。

治療法は、先づ雛を倒に持つて嘔瀉の液又は瓦斯を悉く搾り出し、後微量の薄荷油(五十グラム瓶に四五滴注げるもの)安全なり又は炭酸アンモニアの水溶液微量を解かせるものを飲ませます。此病氣は梅雨期に殊に多いやうです、早くさへ見付けばさう死ぬやうな事はありませぬ。勿論隔離して消化性食物を攝らせて置くのです。

▲食滯

嘔瀉加答兒と好一對の病氣で、何か變つたものを食した時此病氣を起す事があります。
症狀は朝、給餌時に一番よく判ります、即ち他の雛が先きを争つて求食する時、此病症あるものは敢て食を求めず、苦しやうな不活潑状態にあります。若しこんなのがあつたら、靜に捕へて嘔瀉を探つて見るのです、此際嘔瀉が充分膨れ食物ある時は即ちこの病氣です。

治療法としては、少量のヒマシ油を與へ、局部を靜かに揉み下げます。若しそれで駄目でしたら切開術をやらねばなりません。

切開術は一寸大儀のやうに思はれますけれど、一度やつて見ると極めて容易なものです。即ち先づ局部の羽毛の邪魔になる部を切り、ケレオソートか又は十倍位の石炭酸を局部に塗付し、利刀を以てスラリとやるのです。此薬品を塗付するのは痛がらぬやうにする爲めです。切開したら内容を悉く取り出し、其後を三十乃至五十倍の硼酸水で能く洗滌し、然る後嚙嚙は嚙嚙、皮部は皮部に縫つてやるのです。用糸は麻か苧麻又は絹絲等で、針と共に石炭酸水に消毒してからやらねばなりません。而し切開は少なくとも生後二週間以上経たものでないと、チト危険のやうです。手術後は直ちに給餌する事なく、十二時間位絶食せしめ、爾後一日位は豆の粉と魚粉位を卵白で練つたものを口に入れてやります。

疾病に對する一般注意 總じて濕氣といふ事は雛の爲め極めて悪い事で、それを敢て願ひぬと云ふやうな人があれば、愈々蜂を掴まねばなりません。殊に梅雨期でもあつたら、一層注意を要する事で、成るべく乾燥した場所に置き、雨の

日は勿論舎内に入れ、晴れば出して陽光に當て、餌を選び、水を良くする等萬端注意を怠つてはなりません。

又多數の雛を一所に箱に入れて置くことも良くありません。殊に管理者は雛の羽の伸びる頃、一層の注意を拂はねばなりません。若し又不幸にして病雛が出たら、直ぐ他の雛と隔離して、温かな室に入れ、餌の如きも充分注意して卵の黄味又は前記の練り餌即ち豆や米の粉に少量の重曹位を入れ、これを卵白で練つたものを丸めてやるとよいのです。

一三 雛の良否及雌雄の鑑別

雛の選擇 雛の良否を鑑別する事も、養鶏上必要事項の一つであります。即ち他から雛を購入する場合や、自宅に残すべき雛などを選び場合に必要であると思ひます。

先づ極小さい雛であつたら、第一に其眼に注意するのです。即ち眼の生々して居る羽毛の密に生へた元氣のよいものは矢張り健全な雛です。鼻水の出たり、羽を

垂れたり、又肛門部の汚れて居るやうなもの、居眠りするやうな不活潑なものは駄目です。尤も居眠りにも病的のものと、然らざるものがありますから、注意せねばなりません。充分餌を得て安心の時などは、往々居眠りをする事もあります。羽毛の如きも亦よく注意せねばなりません。往々挿し毛などが出て不愉快極まるものなどもあります。褐色レグホーンや横斑ロツクの如きになると、幼ない時からよく其挿し毛を知るやうな譯に参りませんが、名古屋コーチンや白色レグホーンなどになりますと能く解るものです。尤も名古屋コーチンの特徴として、尾や親羽は黒色をして居るのが普通ですが、頸の圍りに黒色の挿し毛の出るやうな事は面白くないから、避けねばなりません。名古屋コーチンの初生雛が全體稍や黄褐に出たら申し分の無いもので、若し頸部にポツチリとでも黒い毛が出たら、他日必らず頸部に黒い毛を出す前兆と思はねばなりません。

雌雄の鑑別　これは養鶏上大なる問題でありまして、若し此問題にして立派に解決の出来るやうになりましたら、養鶏上どんなに幸福か解りません。而し残念な事には、鑑別上確たる根底が少しも無いのであります。実験家の書物や、古く

からのいひ傳へなどを見ると、いろんな事を書いてありますけれど、多くは皆牽強附會でありまして、要するにあてにならないものなのです。こんな有難味の薄いものを紹介して見ても、結極何等の價値もないのですから、唯私の経験上これなら多分間違が少ないかと思ふ二、三の點を、申し上げるに止めて置きます。

私は嘗ては随分種々の鶏もやつて見て、種々注意もして見ましたが、何分接した年数の少ない鶏、即ち一二年で止めて仕舞ふたものは、充分な注意も行き届かなかつたので、彼此の分別も出来なかつたのです。が最も多く接して来た名古屋コーチン褐色レグホーン、横斑ブリマスロツクの三種だけは、大抵間違のない斷定を下す事が出来るやうになりました。尤も比較しての話ですから、其積りに思つて貰はねばなりません。

- 一 名古屋コーチンの雛の中、羽毛が極細かで挿し毛の如きも少なく、翼尾の生へ方遅く、且つ體の扁重に近きは雄。
- 二 褐色レグホーンでは、生れたてに羽毛の色の濃きは、大抵雄。
- 三 横斑ブリマスロツク中、羽毛の色淡きは、大抵雄、殊に斑紋全體に表はるゝに

至れば一層明瞭です即ち斑紋中白色の部大きく且つ多く、黒色の部の小にして淡色なるは必ず雄。
斯くの如き簡単な標準で而もよく適中しますから面白いです、但し多少見なれぬといけませぬ。尙一般から見た場合従来書物や世間話中比較的信用を置くに足るやうなのを二つ三つ左に挙げて御参考に供します。

初生雛の標準

- 一 單冠種にありては冠肉厚く缺刻深きは雄。
 - 二 冠の續きの後頭部に羽毛の生せざる所あり此部分の短くして廣きは雄。
- 二週間前後の雛の標準
- 一 主翼羽のみ早く生ずるは雄。
 - 二 尾羽の早く生ずるは雌也、これは殊に名古屋コーチン、横斑プリマス、ロツク等の兼用種に於てよく適中するやうです。

雄の價値 雄だからといつて必らず退けねばならぬといふ事はありませぬ、繁殖用の場合には雄は最も大切で如何に雌が善くも雄が下等であつたら結局駄目

です。實際善良なる其品種の特徴は雄に依つてよく遺傳せらるゝのは一般法則で雌が如何によくても交配すべき雄に缺點が多かつたら逆も充分な成績は得られませぬ。又巧みに去勢する事でも出来るもしましたら、肥育後肉として賣つても割に合はぬといふ事は無いのです。

一四 成鶏の飼育 (その一)

生後百五十日も経つと充分な大きになり早熟なる種類であると最早産卵を始めます。此時期になれば勿論萬事萬端成鶏として飼育しても何等不都合を認めぬのであります。左に成鶏の飼育管理に就き其大體を述べやうと思ひます。先づ順序として餌の方から申しませう。

飼料の種類

第一に餌の種類ですが、これには種々の材料がありまして穀類としては玄米、麥類、玉蜀黍を上等品とし、粟、稗、黍、蕎麥等があります。又概碎米、米糠、麥糠、芽才、精米の殘物、麸、穀油、粕、餵粕、豆腐粕、大豆粕といふやうな農産製造の殘滓や米や麥の殘飯(これはよく乾かして用ふ尙腐敗したものは大害あり)等又中々結構

基本飼料
と副飼料

な材料です。青物としては菜大根、蕪菁、甘藍、人参等の野菜類からクローバー、オホバコ、其他軟草類、動物質としては鳥獸魚の残肉、臟腑、骨、貝類、其他諸種の虫類等でありまして、他に又特殊飼料として石片、ガラスの破片、消炭、唐芥子等も必要なもの一つとなつて居ります。

(七六)

基本飼料と副飼料

右の中穀類、農産製造残滓及び残飯等は人間の食物中、所謂御飯に相當するもので、鶏の飼料中最も重要な地位を占めて居ります。これを六ヶ敷い名稱で申すと、まあ基本飼料とでもいひまじやう。後の青味や動物質の飼料は、私どもの所謂お菜に當るので、お菜と御飯と共に缺くべからざるやうに、必らず無くてならぬ飼料なので、これを副飼料と申します。

所が此等基本飼料に就いては、どんな人でも、恰も吾等三度の食事のやうに、これを忽にする人はありませぬが、お菜の方の青味や動物質に就ては、何時も忘れる人が多いやうです。尤も材料の豊富な時は御馳走の積りでドツサリやつて置いても、無くなると一向平氣で打つちやつて居るやうですが、柵外放飼の場合には、左様迄注意する必要もありますまいけれど、冬季や採種卵時になると、勢ひ柵外とせぬ

動物質飼料

ばなりませぬ。此等の場合には是非副飼料なるもの、必要なるは勿論で、譬ひ放飼した所で、青味や虫類は無限のものでありませぬから、相當に補つて置かねばならぬのです。實際此副飼料が足りないといふ事も、體を丈夫に保つ事が出来ず、卵を澤山産ませる事も出来ません。此副飼料は基本飼料と共に常に不足さしてはならぬといふ事を必ず忘れてはなりません。殊に其中の骨類となりましては、其効能は中々面白いもので、一方には體の骨骼成分を生成し、又一方では其破片を以て胃中に於ける食物の消化を助け、更に卵殼の生成にも大なる力を持つて居りますから、これを碎いて其汁で練餌の練り料にするなどは一層面白いのです。貝類も同様で、これを潰してやると、其肉は動物質の副飼料となり、殼は卵殼生成に必要な成分となるのです。

特殊飼料

特殊の飼料

鶏は他の高等動物と違つて、突飛な飼料を必要とします。即ち前記の小石片や瀬戸物乃至硝子の破片と申すやうなもので、而も此等は年百年中苟くも鶏の生命ある以上必要分の一とするものです。尤も此等のものは敢て營養成分となるものでは無く、唯食物の消化を助くるといふ役に過ぎませぬ。鶏を料

理した人は何方も御承知の筈ですが、鶏の最後の大きな硬い胃、即ち破囊の中には石片や瀬戸物の破片が食物と一所に多数混つて居るものです。即ち此等固形物と食物とを摩り合はせて、丁度吾等が齒で物を嚙切るやうに咬断するのです。で放飼の際には鶏自身が其必要に應じ、自由に啄食しますけれど、柵飼の場合なれば自由に拾ふ事も出来ませぬから、必らずそれが給與を忘れては成りませぬ。殊に東北や北陸地方の冬期降雪ある地方等では、至極大切な事です。而し外の飼料のやうに毎日定めてやる必要もありません。唯何時も無くならぬやうに、鶏舎の中に投つて置けばよいのです。斯くすると鶏が欲しい時分には何時も自由に拾ふて食ふ事が出来ます。尙又特殊飼料の一つとして唐芥子や胡椒などは、常に必要であるといふ事もありません。ぬが酷暑や嚴寒や梅雨時等に與へて體力を増さしむる、一種の興奮劑として用ゆる事があります。又木炭や消炭などは血液を清浄ならしめ、胃腹の掃除をするに有効なものです。

飼料の調

飼料の調理 さて此等の飼料をどんな具合にしてやるかといふと、先づ其儘やるのと、調理を加へてやるとの二通りに分れるのです。諸種の粒物は時として

煮てやる事もありますが、大抵其まゝ與へるので、臺所の殘物や其他一般の廢物を利用する時には、勢ひ調理してやらねばなりません。

雜穀類の粒物や、其まゝ食はるゝ植物質のものは、直ちに其まゝやつて宜しいのですが、諸般の粕類、動物の廢棄物等は、これを一所に煮るか、又は水若しくは煮汁のやうなものを作り、これを以て練つて與へるが宜しいのです。實際練餌は美味しいものでも、不味いものでも、一纏めに混合し、又種々の成分のものを適當に配合する事が出来るから、總體を美味に食はする事が出来るのです。加之一般に材料が低廉で、又餌箱に殘物を存する事が少なく、飼料經濟の上から見ても、又消化を助くるといふ點から見ても、極めて都合の宜しいものです。尤も又其調理にはそれだけ手間がかかるけれど、總括した所でやつぱり安く上ります。でまづ練餌調製の大要を述べましよう。

練餌の調

練餌の調製 先づ動物質又は臺所の廢棄物等を原料とし、適宜の水を加へ煮沸して、茲に煮汁即ち所謂スープを造り置き、穀粉類、粕類の粉碎せるもの、米糠、穀芽才、精米の殘物、其他粉狀の材料を適宜に混じ、これに挫截せる青物の適量を加へ、前

余の練餌

練餌給與の注意

記のスープを以てビタ／＼せぬ程度に練り合せるのです。但し此等の材料の配合分量等は一考を要する事で、餘り多量の動物質をやれば却つて胃腸を傷め、下痢を起し易く、又馬鈴薯や穀粉類の如く澱粉質の多いのもよくないやうです。で各材料の成分から考量して適當に定めねば成りませぬ。

私のやつとるのは非常に簡單で、魚屑の煮汁に糞と穀と青物とを混合したものです。冬期の青物を得られない時は、秋季雜と煮て日乾して置いた大根や蕪菁の莖、或は庖厨の大根の皮蕪菁や人参の殘物を細かに刻んで交へて居ます。

練り餌に就いて注意を要するのは、夏期でありまして、朝に造へたものが午後になると腐敗する事が度々あります。こんなのは無論喰して宜しく無いので、我が十五羽養鶏を重んぜらるゝ方には寧ろ夏の練餌は止して貰ひたいのです。左に或る養鶏家のやつて居らるゝ練餌の材料及び其配合分量を御参考までにあげて置きます。

- 一 (一雄十二雌に付き一日の量)
 - 芽 才 三合
 - 大麥粉 六合
- 二 (同上)

米	一升	穀	三合
糠	一合七勺	玉蜀黍粉	一合五勺
麥	八合	蕎麥粉	一合五勺
魚屑	百匁	魚屑	若干
青味	百十五匁	青味	若干
		混合穀類	五合
		燕麥	四合

以上 午前八時

三 (百羽に對する一日の量)

雜穀	四升	穀(小麥)	三升
餉粕	一斗	雜穀	二升
穀(小麥)	一斗	碎米	四升
青味	一貫二百匁	生の糞	一升
肉汁	四升	青味肉汁	適宜

四 (同上)

雜つと斯んな具合であります。これは單に見たり聞いたり例を一寸羅列したので、其何れが最も合理的で又最も經濟的であるかといふ事は批評が出来ませぬ。要は其地方で最も安値に、又最も得易くして、而も最も營養價値の高い材料を選ぶにあるのです。

給餌法の
變化

給餌法の變化

飼料給與の方法は、柵飼の場合と放飼とに依りて異なり、又鶏の種類、年齢、季節等種々の事情に依り常に變化する必要がある。左に其重要な場合に就いて述べましょう。

種卵採取期の飼料

私は前にも述べた通り種卵を採る時期には柵飼して居るのですが、此時期の飼料は兎も角受精の確實な種卵を得なければなりません。で私は此時期になりますと、

糞 二升
骨 味 一升
水 二升

鰯 一升
魚 屑 二升

の割合に混合した練餌を一日三度に分與してやります。どうせ期間が三十日位のもので、すから知れたものです。尙他に粒餌として上等糞一升程撒いてやり、牛馬の骨なども購入して砕いてやつて居ります。又時々貝殻の粗粒もやります。

放飼の飼料

普通放飼の場合は、自由に野外を遊び廻りますから、自ら欲するものを食して居るので、餌の如きも簡單なもので宜しいのです。私は此の時期に

放飼の飼料

柵飼は種卵採取のみに限る

給水の注意

は夜來浸して置いた上等糞(自宅のもの)ですから、販賣向のものとは違つて、多量の碎米もあり、又多少の玄米も交つて居ます。一升五合に穀七合と青味を少量刻んで掻き交せたものをやるだけの事です。水に浸してやらぬと喰ひ悪いと見えて、残物を多く出しますし、又一方浸したものは消化が宜しいやうに思はれます。私は別に廢物としてはやりませぬが、彼等は自由に塵溜場や宅の附近に行つて食べて居るやうです。尙終りに一言申し述べるのは、十五羽養鶏に於きましては、種卵採取期の外は成るべく柵飼をするなといふ事です。此點は深く御承知を願ひたいのです。尤も野菜の播種期の如きは又特別ですが、若し斯る必要上柵飼をするといふ場合には、矢張り前項の食餌をやるのです。どうしても柵飼の方は産卵歩合は少ないものです。

水は勿論清水で、少なくとも毎朝一回新らしくしてやらねばなりません。而も出來るなら朝餌の終るをまつてやつた方が宜しいやうです。でないと夜來の渴を醫せんが爲め、第一着に其處等邊の溜り水などを多量に飲んで、消化器を害するやうな事があります。

換羽期の飼料

世間の御方は換羽期はどうせ卵も産まぬし、徒喰せるも同様損失ばかり多いからといって、常時同様の食餌或は却つて常時にも劣る餌をやつて居らるゝ方もあるやうですが、これらは大反對です。一寸考へて、直ぐ解る事と思ひますが、此換羽期の間は、體力を保持する營養と、羽毛を構成すべき營養との二通りの營養を取らなければなりません。夫れを往々世間の人のやうに、單に經濟々々とはばかりでは、逆も卵を産む所のさわざでなく、鶏一年中の厄月なのです。斯かる食餌の取扱ひを等閑にせられては、第一鶏の體が持てません、唯夫れ瘠せ衰へて遂には病氣となつたり、斃死したりする事が少なくないのであります。ですから最早換羽期が來たと思ひましたら、餌の成分をグット良くせねばなりません。即ち鯀屑或は乾魚、又市價が安價ならば鯀の卵屑や、鱈其他動物質の營養になるものを少し多量に購入して入れてやるのです。私は此等を煮出して、其煮汁に上等糞一升五合、麩一升と青味を入れ、まあ練餌宜しくといふ體でこれを二回に分與して居ます。尤も宅の糞ばかりでは時々不足する事がありますので、斯んな場合には細麥を煮てやつたり、細麥や麥を煮るには、極雜と又燕麥などを煮てやりますが

梅雨期の飼料

此等は常食の糞のやうには、冷へたがらぬやうです。梅雨期其の他一般氣候の不順なる時も同様に、鶏はよく健康を害するものです。故に此時期の飼料は、幾らか成分をよくして、鶏の弱らぬやうに勉めねばなりません。又飼料が腐敗し易いから其點の注意も必要です。又強壯劑として、林檎酸丁幾又は鐵水(鐵釘水)の少量を飲水に加へるがよいのです。或は次の合劑を飲水三合に一匙位の割合に入れて與へます。但し此水は鐵製の器具に容れてはなりません。

- | | | | |
|-----|------|----|------|
| 硫酸鐵 | 半ポンド | 硫酸 | 一オンス |
| 清水 | 五升 | | |

或は又消化器を害したやうな場合の時には、興奮劑として唐芥子の挫截んだものや、胡椒末の少量を練餌の中に混じ與へると、効果があります。これは嚴寒の時にも用ひて大に効があります。

以上飼料の事は、大體終つた積りですが、附録として御注意せねばならぬ事は、柵飼殊に薄暗い所に入れて置いて、上等の餌を飽食させて居ると、脂肪症と申す病氣

を起して、後體部に多量の脂肪を蓄積して、其重みで腹部が垂れ下り、丁度卵でもつかえて居るやうな形となります。殊にこれは名古屋コーチンや横斑ブリマスロツクのやうな肥肉性のもに屢々見る病氣です。こんなのは食へるには極結構なものです。が、さて卵は一向に産みません。

一五 成鶏の飼育 (その二)

管理法

管理法

管理と申した所で、畢竟毎日同一の仕事をして、別に面倒な事

で無いやうなものゝ、さて其千編一律なのが却つて厄介に且つ手数のやうに思はるゝのであります。けれども之れが又養鶏の利益に大關係があるので、充分の注意を拂はねばなりません。

一日の管理

で之れは勿論細かくいへば鶏の種類や飼養の方法とか、氣候の如何、其他種々の事情に因つて、その取り扱ひ方も別にせなければ成りませんが、先づ大體一日の作業を申しあげれば次のやうなものです。

朝の作業

朝の作業 成るべく早く起きて、先づ飼料を調製する、即ち前夜造つて置いた夏な

らば腐敗する事がありますから、此場合は其朝動物の煮汁に所用の練餌材料即ち糶とか米糠又は穀及び青味等をホロ／＼加減に練り合せます。

飼料の調製が終れば運物場の餌箱にこれを配布します。此際昨日の食残りがあるらばこれを他に捨て、尚箱が不潔であつたら流水にてよく洗はねばなりません。若朝餌を二回に分與せんとする場合には、勿論残部を涼しくして風當りのよき所に置くのです。

斯くして餌箱に分配終らば、舍内に入りて一應鶏に異状無きや否やを調べ、後開放して自由に餌を食せしめ、傍ら水箱に清水を入れ、舍内の糞を掃除するのです。此糞掃除が兎角怠り勝ちになり易いもので、多忙な時には三四日に一回とか、甚だしいのは一週間にしかやらぬ人があります。これは至極良くない事で、こんなのはやがて鶏の病原をなすものです。殊に夏期及び梅雨期には一層清潔が必要で

晝の作業
晩の作業

晝の作業 朝食後より自由に開放して置くから別に仕事としてありません。

晩の作業 午後三時頃再び残部の餌を給する、此際必ず鶏の數に注意して置かね

ばなりませぬ。習慣に依つて口笛で集まれます後充分飽食して自然に舎内に入るを待ち暫く其止り木に就く様を見て異常なくば戸を閉づるのです。一日の定つた仕事とは先づこんなものです其間卵を採る事も亦一つの重要な作業であります。由來鶏は前日午後に於て充分餌を得たものですと翌日午前中大概産卵するやうですが前日午後喰へられたものは翌日午後産卵するやうです。集卵の如きも午前十一時一回と午後四時一回都合一日二回やるが宜しいのです。御承知の如く鶏はなかく恥しがつて人が見て居ると産卵を見合せるものです。偶々人が行つても巢から飛び出ぬものは就巢の念が起きてるかさなくば既に卵が腸の方まで下つて来て逃げるにも逃げられずといふ可哀な境遇にあるものです。ところが物好きなお方や子供等などは得たりかしこしと鶏の逃げぬのを善い事にしてお産の終る迄御見物なさるなどは随分罪な事と思ひます。尙又鶏が産卵しかゝつて居るのを人が行つて噪がしたり驚かしたりするのは最も良くない事です時とするそれが爲め産みかけの卵が腸の中に落ちて腐つたり又輸卵管の中で破裂したりして斃死する事がよくあります。

氣候に對する管理と注意

四季の取り扱ひとしましては春は何分折角

産卵する時期でありますから貝殻や動物質を充分與ふる事を忘れてはなりません。又鶏を驚かしたり噪がしたりする事は最も慎まねばなりません。即ちこれ産卵を中止せしめるからです。

夏は又ともすると病鶏が出易く殊に梅雨時期は濕氣の爲めに種々な障害を蒙るものです。此時期は出来るだけ鶏舎内の清潔と乾燥に注意し、練餌には水分を少くするやう勉めねばなりません。特に糞の掃除は一層嚴重にやらねばなりません。糞虫なども此頃からソロソロ出初め、其初期に驅除を怠りますと七八月頃には容易な事で驅除が出来なくなります。又夏は四方の窓や無窓戸を悉く開けて空氣の流通をよくし、時々デシンヘクトールやクレシン又はリゾールてなものを以て消毒し、産卵箱にも除虫菊粉又は硫黄華などの驅虫劑を散布して置くです。又蒸し暑い夜などは室の一部を開いて涼しい風を入れるやうにせねばなりません。又時々水に興糞劑を入れてやります。

秋は又大概換羽期になりますから其取扱にも特に注意し、卵を産まぬといつて

虐待する如き事あつてはなりませぬ。而も此時期は却つて上等の餌や強壯劑を與へ、なるべく早く換羽を終るやうに勉めねば成りませぬ。

冬は私どもの寒い同様、鶏も亦寒いのに變りが無いのです。殊に鶏は寒氣と濕氣は餘程こたへるものと見えますから、舍内には厚く糶殻を敷き、又隙間風の來る所には目張をなし、尙寒いやうであつたら、糶か何かで鶏舎の周圍を圍ふ事も必要です。凍りかゝつた水も宜しくありませんから、成るべく朝一回微温湯を與へ、冠の大きい鶏などは往々にして凍傷を起し、アタラ美冠を臺なしにする事などもありますから、こんな氣遣のある夜などは豫め冠部に豚脂又はグリッスリンなどを塗つてやります。前回申しあげたやうに強壯劑や特殊飼料の給與もやらねばなりませぬ。

鶏に害ある事故

凡て急劇な變化殊に食物場所等は養鶏上非常に忌むべきことであります。殊に改良種となると一層劇しく、此爲めに産卵を中止して、其恢復に長時を要します。病になるといふ事も決して少なくない事です。實際放飼より急に舍飼に移しますと、折角の産卵を中止して、再び産み始める迄には多くの日数を要するものですから、舍飼に移すにしても順次慣らさねば成りませぬ。

又驚愕といふ事も鶏に大害です。一時の發作でひどく追ひ廻したり、夜間の不注意より外敵に襲はれたりするやうな事は極悪いものです。又同時に雨に當てる事なども害になりますから、無論雪雨の天氣には外に出さぬ方がよいやうです。まあ管理の事を一々申し上げては、際限がありませんから、此位で止めますが、要するに其時其折に應じ、臨機處置を取り、應變の策を取る事が最も肝要のこと、思ひます。

一六 成鶏の飼育 (その三)

成鶏の疾病

元來鶏の病氣と申すのは、折角治療して見ても中々癒らぬものです。それも其筈で、もう私どもの目につくやうになるには餘程重患に陥つた時なのです。私どものやうに少し加減が悪くなつても、此處が痛むの其處が痛いなどといふ事が出來ませぬから、病の初期にはどうしても私どもの目につきません。で、大概病氣に罹れば參つて仕舞ふものです。それでも初期輕症中に相當の手當

をすれば、さう迄斃死するといふ事がありませぬから、早く見付け出すといふ事に至極肝要の事と思ひます。私などはこいつ面倒な病氣だと思つたら、時を移さず屠つて仕舞うか、さなくば賣却して仕舞ひます。こんな行動に出づるは愛鶏者として、餘りに無慈悲に且つ餘りに慘酷のやうに思はれましやうが、不治と見たものを良い加減にして苦しましむるのは却つて鶏の爲めに可憐に、且つ慘酷のやうに思はるゝからです。而し勿論十五羽許りの鶏ですから、管理さへ行き届けば滅多に病鶏を出すなどといふ事がありませぬ。

由來病氣の原因と申すは、種々の場合がありますから解りませぬが、先づ不完全な室や運動の不足、粗暴な取り扱ひ、不潔等が主なる原因となるものでありまして、殊に世間によく見る腐敗しかゝつた殘飯などを鶏にやるなどは、以つての外の事と思ひます。鶏の病氣には消化器に關係するものが最も多いやうです、又消化作用が完全ですと、大概の病氣には打ち勝つて行けるものです。又これが悪くなる種々の病魔にとりつかれるのです。ですから食餌の取り扱ひに充分注意する事が病氣を豫防する第一要義であります。而し劇烈の傳染性の虎列刺や炭疽病

(黒瘡)と來ては、逆も致し方のないもので、ヤレコレといつて居る中に、五羽や三羽は直ぐ死んで仕舞ひます。斯んなものに見舞はれたらもう最後ですから、先づ見舞はれぬやう豫防法を講ずるより外はないのです。即ち近郷近在そんな病氣があると聞いたら、決して鶏舎に他人を入れぬ事、自分も亦勿論そんな危険地へ行く事を慎まねばなりません。其他常に舎内を清潔にし、時々消毒法を行ひ、前述の強壯劑を與へて、始終鶏の體を丈夫に保つて置くのも矢張り豫防の一法です。これに次いで恐ろしいのは結核と實布的里です、輕症のはさうでもないが、これにやられても大抵癒る見込が無いから、思ひ切つて片付けるが寧ろ得策と思ひます。重症の病氣に對する私の概念は、雜と右のやうですが、比較的吾々素人でも治療の見込ある病の三四種に就いて申上げましやう。尙矜愛加答兒や食滯病に就いては、雞の時述べたのを應用すれば宜しいのです。

▲鼻加答兒及び咽喉加答兒鼻氣咽氣

病原 氣候の變り目の感冒濕氣の害、蒸暑の害、殊に鶏舎に於て暑さと糞の惡臭に蒸された場合です。

症状 鼻氣は鼻口より水様の薄き粘液を分泌し、日を経るにつれて次第に濃厚となり、鼻孔を閉ぢ、呼吸困難を感じ、尙進めば液臭氣を帯び、遂に實布的里に變症し、容態益々重患となります。又咽氣は頻りに咳ケツケツといふを出し、咽喉に痰ありて呼吸の都度ゴロ〜と響を出し、病進むにつれて氣管を害し、遂に氣管支加答兒となり、又實布的里に變ずるのです。何れにしても食慾を減じ衰弱して遂に斃れます。

治療法 先づ前者には一日數回五十倍の硼酸水で鼻孔を洗ひ、粘氣を去り、内服薬として朝夕唐芥子又は胡椒末を與へて元氣をつけるのです。尙食慾なき時は澱粉を卵白にて練り、少量の炭酸を交へて、無理に口から押し込みます。後者に對しては内服用として同様のものを用ひ、局部用としては鶏の羽か筆にテレピン油を塗けて、咽喉部に入れ、靜かに廻して痰を取り取ります。又一方番木鱧丁幾三滴を二合位の水に和して、隨時飲用させます。

實布的里

▲魯布及び實布的里

原因 能く解つて居らぬさうですが、虎列刺に次いで恐るべき傳染病で、虎列刺

程猛烈に一時には來ぬが、漸次衰弱してみぢめな死様をするものです。多くは前病の惡變して來るもので、前病と常に關聯して居るやうです。やはり不潔や過濕が主なる原因のやうです。殊に若年の鶏、生後四五ヶ月のものが良く侵されるやうです。

症状 初期には大抵沈鬱、佇立、呼吸困難の状を示し、頻りに咳嗽を發し、鼻孔より惡臭ある粘液を出します。又眼を侵されると、眼の内側に白色の分泌物を出し、眼瞼腫れ上り、遂に全く視覺を失ふに至る事があります。食慾衰へ、漸次衰弱して遂に斃死します。

治療法 傳染性のもので、すから第一直ちに隔離して傳染を防ぎ、同時に舎内の消毒をするが宜しいのです。尙患者に對しては乾燥、温晴の處で良好なる飼料を與へ、五十倍硼酸水を以て一日數回局部を洗ひ、内服薬として一寸覺えて居るのは

硫化鐵の粉末

五分

肉桂皮末

一匁

甘草末

四匁

右を六十位の丸薬として一日三回二粒づゝ與へます。かくて三四日の後硫化鐵の粉末四々及び唐芥子の粉七々を澱粉と共によく混和し練餌として朝夕與へます。然し容態容易ならぬと見たら、やつぱり早く參らせた方が宜しいのであります。

(九六)

▲脚痿症

原因 過濕又は寒氣の害を蒙りたる場合、若しくは發育中石灰分の不足の場合に見えるものです。

症状 膝節定まらず脚動揺して歩行する能はず、或は歩行するも甚だしく跛を引き、常に伏して食を攝るやうになるものです。

治療法 先づ原因が前者にあれば乾燥温暖なる場所に移し、飼料中に多くの米糠を加へるとよいやうです。又原因が後者なれば石灰分即ち貝殻類を與へます。一方又林檢酸鐵の微量を内服用として與へる事もよいやうです。

▲痘瘡

原因 一種の微菌の寄生に依るので、而も蚊が病毒の傳播をなすものゝやうで

す。
症状 吾人の痘瘡と同様冠や顔面、眼瞼、脚等に小粒の如きものを生じ、漸次腫れ上り、黒色を帯び、爲めに失眠する事もあり、一般に食慾減退して死んで仕舞ふやうです。

治療法 局部に過鹽化鐵を塗付すると宜しいやうです。兎に角傳播の役は蚊にあるのですから、流行するやうな時には蚊を防ぐ事をせねばなりません。

▲軟卵症

横斑プリマスロツクなどに多いやうですが、輸卵管の炎症或は石灰質の缺乏等です。

症状 別に無い唯卵殻の薄き卵を産むといふだけです。

治療法 としては其原因を調査し、石灰不足より來らば貝殻を與へ、他にある時は蓖麻子油一匙及び微温湯を與へ、尙甘汞〇・一八グラムと吐酒石〇・〇一五グラムを三回分とし、麥粉に混合して二日間位服用せしむると宜しいやうです。病氣としてはまづ此位のやうですが、尙鶏に寄生する寄生虫の事に就いて一言申

しあげて置きます。

▲疥癬

病原は「サルコプテス、ムーグランス」とか申す六ヶ敷い名の虫の寄生した爲めに起るものです。

加害の状 おもに脚部を犯されます、即ち脚部の鱗が荒れ立つて、内部が次第に蝕れ腫起して來ます、烈しくなると悪臭を放ち化膿するやうな具合に破れて來ます。

驅除法 としては甚だしくならぬうちに、石油を刷子(口揚子)最も宜しに塗りて擦りつけてやるか、又は水銀軟膏或は硫黄軟膏(硫黄二分、炭酸加里二分、豚脂又はワゼリン八分を練り合はす)をつけて、綿帯して置くのです。

▲ワケモ

加害の状 これは夏期最も多く發生する微小な昆虫でありまして、晝間は凡て木材の割れ目や壁の隙間などに隠れ、夜間出で、血を吸ひ非常に鶏を弱らしますが、其澤山發生した時は板面悉く練でも撒いたやうになる事があります。其

繁殖も極めて速かなもので、暫く放任すれば殆んど手のつけやうがなくなるものです。斯うなると鶏は産卵場所にも行かず、夕方などは入舎を躊躇して入る事を厭ふやうな風になります。
驅除法 としては石油が一番宜しいのです、少し高價だけでも、これを木材や壁の間隙割れ目等に隈なく散布するのです。其他の手ぬるい方法では、とても仕末にいけないものでありませぬ。
ワケモの發生は全く不潔に原因するものですから、舎内の掃除を嚴重にし、常に清潔法を施行して置くのが豫防の秘訣です。

▲羽虫

これは俗に鶏の虱とも申しますが、これも舎内の不潔が發生の原因となります。實際大抵の鶏には此虫の居らぬといふ事はありませぬ位です。最も多く發生するのは五月から十月、又砂浴の出來ぬ冬期などにも随分多いやうです。
加害の状 此虫の寄生を受けた鶏は、頻りに爪や嘴で體の各部を掻き、羽毛を立て、頗る不安の様子を示して居ます。此虫は管に血液を吸ふばかりでなく、軟

毛をも喰ひます。で次第に衰弱して遂には斃死します。

驅除法 除虫菊の粉が最もよくきくまます。而し除虫菊粉は非常に高價でありま
すから、合劑として用ひた方が寧ろ得策です。即ち除虫菊一分に木灰か石灰か
の五分位を混じ、何か罐にでもつめて一晝夜間密閉して、翌日各鶏の羽毛の中
すり込むのです。又除虫菊のアルコール浸出液と申して、アルコール一合に除
虫菊三夕程と、水一合を混ぜ、二晝夜密閉したものを霧吹器で羽毛の中に吹きか
くるのです。

先づ病虫に關することはこれ位にして置きますが、何時も申す通り危険時期に
は舍内を丁寧に掃除して、清潔を保つ事が何よりも大切です。また毎日の脱糞状
態と冠の色とによく注意して居らねばなりません。糞は黑白半々位のものにて
固り居るをよしとし、黄色や液質のものは共に不健康の兆です。冠の色も鮮美な
血色を常態とし、褪色して居つたり、紫色、又は黒色を呈したり、勢なく垂れて居るな
どは、鶏體の常態でない事を示して居るものです。又餌を與へても喰はうともせ
ず、チヨコナンと停立し、又は群居を避くる如きも同じく不健康の兆です。斯かる

病の一般
注意

悪癖

異状を呈する鶏には其原因を調べ、一刻も早く手當をするのは肝要の事です。
尙悪癖で卵を喰ふたり、又羽を喰ふ習慣のあるものなどもあります。要するに
其癖の始まりは、必らず或る必要成分の缺乏から來るものです。尤も中には偶然
の結果より來る事もあります。故に先づ其原因を調べ、これに應じて或は動物質
の餌を給與し、又は貝殻等の石灰質分を給與する等の事に注意せなければなりま
せぬ。喰卵の悪癖に對しては腐敗卵を與ふるか、又は殼に極苦味のあるものを塗
付した卵を一度與ふるとよいとの話です。

一七 多産及肥育

産卵力

鶏の産卵力

多産や早熟といふ事は、種類に依つて相違のある事は勿論です
が、鶏の個性に依つても大なる相違のあるものです。故に管理者は餘程綿密に注意
を拂つて、相當の方法を講せなければなりません。今参考の爲め愛知縣農事試験
場でやつた産卵増進試験成績の概要を紹介する事とします。而し著者は豫め注
意して置きますが、養鶏に關する試験なるものは、二回や三回、五年や三年では到底

個性に
よる卵
の異
なる
事例

正當なる成績を擧げらるゝものでありませぬから讀者に其心を以て觀察して貰はねばなりません。これを以て標準とでも考へたら大變な間違の起る事があるかも知れませぬ。

(1011)

供試鶏	名古屋コーチン
羽数	六十羽
期間	自四十一年四月 至四十二年九月 (十八ヶ月間)
飼料	一羽四厘
飼育法	柵内飼育
産卵二百個以上のもの	七羽
同 百七十個以上のもの	八羽
同 百四十個以上のもの	八羽
同 百二十個以上のもの	三羽
同 百個以上のもの	三羽
同 少数にして失格せるもの	二十一羽
病死	十羽
合格せるもの、中最多産個數	二百四十個

個性の遺傳

品種の淘汰

同 最少産個數 百〇七個
失格せるものは、多く脂肪過多症と、内臓に疾病のあつた爲めであるといふ斷り書きが付いて居りますが、とに角同一種類でも、個性に依つて斯くの如き相違があります、而も鶏の多産性は遺傳するものでありますから、當局者が其管理を綿密にするは勿論、常に周到な注意を拂つて、品種の改良を心掛けねばなりません。而し一言すべきは、形態や羽毛の善美とは常に必ずしも一致するものでないから、單に産卵及び増進の目的を以て改良する段になると、最も産卵歩合の多かつた鶏の卵を孵化することになるのでありますから、勢ひ純粹系統の維持は望む事が出来ぬやうになります。

尙同場で此目的から雛を得た實例をあげますと、前記の名古屋コーチン中二百個以上産卵したものを、四十二年十月種禽として卵五十個を得、十一月上旬孵化せしめた雛の發育は次の通りです。

抱卵月日	抱卵數	孵化數	同餌付	死亡數	成育數	雄	雌	初産月日
四十二年十月十四日	五〇	三八	十一月六日	四	三四	二一	一三	四十三年三月廿六日

最新副業十五羽養鶏 一七、多産及肥育

(1013)

品種と成

右の表で見ますと、雌雛の成熟は僅かに百七十二日で誠に早い事を示して居ます。尙次に同場でやつた成熟の早晚試験中、有望種に就いての結果を挙げて見ま

種	類	孵化年月日	産卵月日	初産卵迄の日數
白色	レグホーン	五月廿二日	十二月十四日	二百七日
褐色	レグホーン	五月廿八日	十一月十一日	百六十七日
黒色	ミノルカ	四月十日	十一月十七日	二百廿二日
名古屋	コーチン	四月一日	九月十九日	百七十二日
横斑	プリマスロツク	五月四日	十二月廿四日	二百廿五日
白色	ワイアンドット	三月八日	十月二日	二百九日

右の結果を見ると、褐色レグホーンが一番早く、横斑プリマスロツクが一番後れたやうです。名古屋コーチンの百七十二日は、チト早いやうにも思はれます。

肥育法

肥育法 さて次に肥育法ですが、これは外國では盛に行はれて、鶏の肥育事業が一の専門業になつて居るとの事ですが、肉食の幼稚な本邦ではまだ其必要は無いと見え、殆んど行はれて居るといふ事を聞いた事はありませぬ。要するに短時日

自然肥育と強制肥育

の間に鶏の體に筋肉と脂肪を多量に集積せしむる事なのですが、我が十五羽養鶏に於ては格別必要な事でも無いのです。而し何かの時役に立つかも知れませぬから、其要領だけを述べて置きましょう。即ち小さな舍靜かで薄暗く暖かなる舍に入れ、體温の消散を防ぎ、運動を禁じ、精神を安靜ならしめて置き、一方消化し易き滋養飼料を與へるので、其やり方に二通あつて、一は自然に喰ふだけ喰はせて肥らせるので、これを自然肥育といひ、一は人力を以て無理に喰はせるので、これを強制肥育といひます。強制肥育では餌を棒のやうに練つて挿込んでやるか、又はとろ／＼に練つた餌を漏斗のやうなもので注ぎ込んで喰はせるのです。近頃は進歩して精巧な器械も出來、雑作なく注ぎ込む事が出来るやうになつて居るといふ事です。我が農商務省の澁谷種禽場などでは試験的にやつて居らるゝやうです。浮き世と時節と申して仕方のない事ですが、人間の慾望を達する爲めには、随分無理な慘酷な事をせにやならぬやうになりました。

一八 鶏の更新法

最新副業十五羽養鶏

一八、鶏の更新法

そろ／＼十五羽養鶏の奥義に近づいて参りますが、此更新と申すは、養鶏の收益上極めて大切な事です。而し之には一應の技術を要し、下手にやると折角の方針も滅茶々々になるものですから充分注意せねばなりません。

先づ最初から申しますと、四月上旬迄に二羽の母鶏にレグホーンの卵十七個、名古屋コーチンの卵九個(一母鶏十三個づゝにします)を抱卵せしめ、其孵化率を大略八割と見まして、レグホーン十三羽、コーチン七羽を得るとします。で勿論雌雄の配合といふ事もあり、飼育中云々の件もありますから、初回の雛の孵化するを待ち補充兵として前の續座で申したやうに、一方の上手な母鶏にレグホーン七個、名古屋コーチン六個を抱卵せしめ、即ち續座せしむるので、斯くして又レグホーン五羽、名古屋コーチンの雛四羽を得たものとします。處で此等の雛の雌雄の割合は間違の無い所を申すと、まあ半々で見ねばなりません。其處で前後二回のレグホーンの雛數十八羽ありますから、半數を雌と見て九羽。名古屋コーチンの雛は前後十二羽で、其半數六羽の雌を得る事となります。尤も母鶏の年齢や又氣候如何に依つて、必要時に二羽の母鶏が出ぬ事もありまして、やうし、また孵化歩合

が六分位になる事もありまして、又八割位が雄だといふ事もありまして、やう。而し自家に母鶏の出ぬ時は、少しは高價でも買つて來た方が宜しい、管理が宜しくば孵化歩合も宜しかるべく、又母鶏の年齢が相當であれば敢て八割が雄だといふやうな事もありません。私は三四年此方の經驗に依りますと、此豫定が大抵間違なく行くやうです。

とに角こんな考へで居るとして、生後三十日も経てば誰が見ても雌雄が明かになるものですし、以後は管理さへ宜しければ、死ぬ氣遣ひも大方なくなりますから、茲で斷然淘汰してレグホーンを雌九羽位に、名古屋コーチンの雛を四羽、これに多數の中最も優良なる雄一羽づゝをつけて、殘し、他は全部五錢でも三錢でも、寧ろ直段に拘泥せず賣り拂つて仕舞ふのです。而して何れが將來優秀なるものになるかは、三十日も経つと大凡見當がつくものです。先づ大略を申すと、レグホーンでは全體の構造に異状なく、冠の切れ目が凡そ五齒で、且つ整つて居るもの。名古屋コーチンでは體の大きい嘴の淡色な脚の鉛色の、羽毛の色一様で、餘り黒色の無いのを選ぶのです。とに角先づ前記の數だけを殘して、他は皆賣却して仕舞ふので

去勢

(一〇八)

すが唯名古屋コーチンの雄は其まゝ残して、生後七八十日の頃去勢手術を施し、肉用として賣却しても利益があるやうです。去勢鶏は田舎などで敢て價格に變りがありませぬけれど、都合によれば割合高價に賣れるといふ事です。而し成るべくは餘計な分を拂ふやうにせねばなりません。なまじ面白半分可愛さ半分餘計な分を残しますと、自然管理が届かず、且つ鶏相互の間に烈しき競争が起り、弱者は遂にもものならず、唯骨折損となる位のもので、多から多くも十六七羽に止め、決して山氣を出さずに前述の事を斷行するのです。而も此處が私の十五羽養鶏を唱ふる第一の關門です。

産卵

斯くして以後は飼料管理の如何に依りますけれど、十月の上中旬になれば産卵を始むるものです。而も此頃は一般世間の鶏は換羽漸く終つたか、或は未だ其最中にある頃ですから、卵價も比較的高價で、不覺の利益を得るものです。尤も暖國では秋孵化獎勵の聲もあり、且つ實際利益もあるやうですけれど、北方の地では必ず此四月上旬に限り、殊に早生のものは發育よく體格よく充實し、一般に強健です。而も餘りに早過ぎるも亦弊害が伴ふもので、即ち卵の孵化歩合が悪しい

四月孵化の利

二年目の淘汰

とか、雄が多いとか、又寒中の飼育に困難だとかいふ事もあり、時とすると十一月頃から産卵を中止するやうな事もあります。四月上旬生のもものは、十月産卵し始むると、其後飼育にさへ注意すれば引き續き産卵し、翌年五六月頃に及ぶものです。先づ斯んな具合で初冬から産卵期を起し、さて翌年の夏になると、茲に大なる淘汰を斷行せねばなりません。元來産卵歩合は種類の如何に依つて相違のあるは勿論、同一種ですら個性に依つて著しい相違のある事は已に述べた通りです。即ち或る名古屋コーチンは一ヶ年百五十個を産む間に、或るものは僅かに其半數七十五個にすら満たぬといふ事があります。斯んな厄介なものが居ればこそ、年平均三分か四分半となるもので、産卵歩合の善いものばかり選んで飼育しますと、優に六割五分以上に達する事が出来ます。殊に夏季になると、何處の鶏でも、又何の種類でも一般産卵の歩合が減るのが通常ですが、斯る場合には少産の鶏など、全く徒食的の厄介者ですから、夏季に容赦なく廢鶏として賣却して仕舞ひます。世間には往々二歳兒の産盛りとして、非常に珍重して居らるゝ方も多いやうですが、實際は寧ろ不利益なのです。尤も十五羽全部賣却せとは勿論申しませぬ、前申

す通り産卵力の乏しいものを賣れといふのです。ですから此事をやるには常々の注意が必要で、時々舎を覗き、どの鶏が最も産卵歩合が宜しいかを見て置かねばなりません。斯くして産卵歩合の最も宜しいレグホーンを四羽位と、名古屋コーチン二羽を残すのです。尤も兼用種は第三年目には産卵量頓に減じ却つて不經濟のやうにいはれて居ますが、此際残すのは單に産卵にのみ關係せず、翌春母鶏とするの必要上から残すのです。他の鶏は假令價が安値でも斷然拂つて仕舞ふのです。

斯んな具合で、第二年目には去年の分雌六羽を残す豫定ですから、本春は補充の爲め續産の用もなく、萬事が好都合に参ります。尤も雜賣却の目的で續産を必要とするのは別問題です。

二年目の
解化

三年目以後の孵化及び淘汰 三年目以後は、毎年第二年目の如く雛を解化し、また第二年目の如く淘汰するのであります。たゞ如何に産卵歩合が良いと申しても、三歳目の秋頃からは劣るやうになりますから、淘汰も古いものを第一候補者に立てるやうにしますので。

更新に就
ての余の
主張

更新の話はこれで止めますが、最初雌雄の配合を思ふ通りにし、全數をして十五羽にするといふ事は、仲々困難のやうですが、翌年からは容易になります。又十五羽養鶏だからといつて、何時も必ず十五羽にせねばならぬといふ事もなく、時には十三羽、又時には十七羽位となる事もあるでしやう。で要は十五羽位が一番宜しい標準といふだけです。而し多くするよりは寧ろ少ない方に利益があるやうで、或る人は寧ろ十羽養鶏が宜しいとも申されます。成る程手の足りぬ、食餌を他から購入するといふ副業では實際的話、元より私も大賛成です。唯自家の材料を利用してやる事が出来るなら十五羽が宜しいといふのです。とに角十七羽の鶏より十羽の鶏に益があり、十羽養鶏も大に宜しいといふことを一言して置きます。

又南部のお方で二年目の淘汰は早過ぎる、寧ろ兼用種では三年目の全部淘汰、レグホーンでは四年目の全部淘汰が宜しいと申す方もありました。或は左様かも知れませぬ。此等は讀者の實驗上最も宜しい方を取つて戴きたいのです。實際私も敢て三年目淘汰に我を張らなければならぬといふ筈もなし、唯諸彦の實驗上其何れでも宜しいのですから、綿密な實驗をせられて斯界に範を示されんことを

希望して置きます。

(一一三)

一九 養鶏經濟

1 賣却卵の事

卵の價

卵の價

普通鶏卵は一個二錢を平均價と見て計算するものなさうです。勿論時と場合に依つて相違のあるのはいふ迄も無い事ですが、賣る時期を選ぶといふ事は収益上に至大の關係を有するもので、私などは何時でも二錢以上に賣却して居ますから、平均は二錢三厘位になつて居ります。

前にも申し置いた通り、三四月の頃は氣候も良し、野外運動が自由になるので、最も産卵歩合多く、私の地方などでは一個一錢七八厘迄下落します。而し私は斯る時期には賣却しません、秋迄貯藏して置くのです。

卵の貯藏

鶏卵の貯藏

私が最初貯藏した時は種々と試験的にやつて見ましたが、九割以上の成績を得たのは矢張例の水ガラスでした。私どものやうなものは化學方面の知識が無いから能くは解りませぬが、硫酸曹達とか申すものなさうです。一

ポンド(瓶入一本)十五六錢許の極粘氣のある水飴のやうな濃厚な液です。即ち此液を十八九倍の熱湯に溶かし、よく攪拌して充分に解かし冷して後貯藏壺(土製のものを以て第一とします)又は桶の如きものも使ひますが、安全なのは矢張り壺で殊に金屬製のものは駄目です)に容れて置きます。尤も其前に壺はよく洗ひ内部を一回熱湯で消毒せねばなりません。液を容れたなら勿論蓋をして餘り温度の變化が無い床下又は土藏のやうな所に入れて、靜かに放置するのです。で毎日採集した卵は個々奇麗に水で洗ひ、毎日午後此液中に靜かに容れてやります。勿論卵は液下に沈みますが、澤山積んで液面に近くなつたら後は浸す事を止めねばなりません。卵が少しでも液面に浮んで居たら全く駄目です。斯くして浸漬後二三週間位経つと、卵の面に丁度水垢のやうなものがワワ／＼つきます。一寸見ると如何にも不潔のやうに見えますが、此水垢様のもので貯造に最も大切なものです。此水ガラスに貯へた卵は夏の土用を通して、大丈夫なもので、百日や百五十日は充分貯造されます。唯赤殻のコーチンの卵は卵黄膜の緊張が稍々弛んで仕舞

貯蔵の利益

ふやうですけれど、黄味が亂れるといふやうな事は無いのでありますから、賣却するには少しも差支へありません。レグホーンのやうに白色の卵は何等の異状もなく、内容外觀共に新鮮卵と變りが無いのです。とに角、此液一ポンドで卵八十個を貯造する事が出来るのですから、十五錢とすれば一個の貯造費は二厘につきませぬ。假りに一錢八厘の卵に二厘の貯造費をかけても、秋季まで貯へて二錢五厘づゝに費れば一個五厘の利益があります。極少ない利益ですけれど、普通薄利な養鶏をして利潤を多からしめんとするには、こんな所まで注意せねばなりません。水ガラスの外に石灰水中に貯造する方法もあります。此法に依ると更に安く貯へられますから、一寸經濟的のやうですが、卵殻が混濁して外觀を傷ひ、買ひ手が餘り好まぬやうになります。尙他に種々の方法のある事を聞きますが、逆も水ガラスのやうな具合に行きまいと思ひます。唯水ガラス貯造に就いて申添へますのは、一度此液から取り出したら、腐敗し易い傾向がありますから、餘り長く置く事は出来ませぬ、明日賣る卵なら今夜液から上げて、奇麗に温湯で洗ひ、涼しい場所に並べ乾かして置くのです。

一時的貯卵

斯く永く貯蔵する迄に至らずとも、五十顆又は百顆を同時に賣却せんが爲めに、一二週間位貯へんとしたら、木炭の上に並べて清涼なる場所に置くのです。粗穀小豆なども亦好いやうです。

種卵の賣却

種卵は又當然普通の食用卵より高價に賣ります、而し別に高價に賣らねばならぬといふ理はありませぬが、こんな處で高く賣れるなら賣つてやるのが利益だからです、又此位の光榮を授けて貰はなければ困ります。例へばレグホーンの卵なら一個五錢とか、名古屋コーチンなら一個三錢とかです。勿論母鶏の善悪に依つて斟酌せねばなりません。

鶏の一ケ年間平均産卵數は何回も申す通り、種類個性飼養や管理の如何に大關係あります、先づ私共の經驗では、名古屋コーチンの雌四羽で五百八十個、レグホーンの雌九羽で千五百三十個、合計二千百十個といふ計算です、今假りに一個二錢づゝとすれば四十二圓二十錢となる譯です、尤も此數は羽數十五羽以内にして放飼と来て居ますからなので、若し十五羽以上となし、或は柵飼とでもしたら、決して斯かる數に達する事は出来ませぬ、精々名古屋コーチンは百二三十個、レグホーン

一ケ年の産卵數と見積り代價

で百六十個内外です。

廢鶏の事

廢鶏の處分 廢鶏と申すのは最早飼育しても望みの無いものを屠鶏屋に拂つてやる鶏をいふのです。世間には三歳四歳は卵盛りだといはるゝ方もあり又尾の具合がよいの冠の形がよいのと、四歳は五歳にもなる迄飼つて置かるゝ人もあるやうです。樂しみの爲め養鶏をやつとる貴族様ならとも角、荷くも珠盤をばちいてやつてる吾等は、そんな餘裕が無いのであります。尤も雄は此限りに非らずです。要は卵さへ産めば以て事足れりですから、左様體格や羽毛の色などに氣をおく必要はありません。で大抵鶏は秋の始から末にかけて換羽を始め、産卵を中止したり、衰弱したり、斃死したりする事が多いものです。何しろ換羽期にかゝる前に拂つて仕舞ふのが一番得策のやうです。即ち本年生の鶏に秋から産卵せしめて翌年の初秋には常に産卵の多かつたレグホーン四羽と名古屋コーチン二羽に雄をつけて残し置き、他は全部拂ふのです。

廢鶏の賣却

廢鶏一羽の價について考へて見ますと、換羽期前即ち八九月頃

では鶏肉に一種の嗅氣があるといふので、あまり需用もないやうです。どうしても鶏肉の價の出るのは寒さにかゝつてから春先まで、すが、夫れも其筈不生産の換羽期を通過し、無駄に注いだ資本が漸く利を産むといふ頃です。而し折角其期をまつて居ても、若し途中一羽でも斃死したり、衰弱を來したりすれば埋合せのつかぬ事となりますから、吾々十五羽養鶏家は假令價が安くとも換羽前に拂ふのが最も策の得たるものとせねばなりません。私どもの方では、年に依つて多少の變動はありますが、大抵雄は百八錢位で、雌は十錢位のもので、今廢鶏全部の價格を見積りますと、名古屋コーチンの方は雌一羽平均六百五十と見ると、二羽の代價が一圓三十錢、レグホーンの方は雌一羽平均四百と見て、五羽の代價二圓都合三圓三十錢となる譯です。又雄は四年に一回拂ふと假定せば、名古屋コーチン九百と見、レグホーンを六百と見て、合計一貫五百、肉代一圓二十錢として、これを一ケ年に割り當てる、と三十錢づゝとなりますから、總計年廢鶏代として三圓六十錢を得らるゝ譯です。

世間には前述の肥育法を講じまして、脂肪や筋肉の増加を計る人もありますが

自分で美味しい肉を味ふといふならとも角、賣却の目的にはたとひ大肥りに肥らして、二十日間で二百斤増しても僅か二十錢の差で、左程大影響もないやうに思はれます。それに老鶏は肥育の効少なく、また八九月頃には逆も肥育は出来ぬものであります。

ハ 賣却雛の事

賣却雛 賣却雛と申しますと、自用更新のものを解した後に、他に賣却の目的を以て解す雛と、更新の目的で飼育して居る雛の中から、必要数だけを取つた其残部の雛をいふのであります。前に述べた通り、初年には先づ十五羽の鶏を揃へ、次年には最早豫備としての第二回孵化は不必要ですから、賣却の目的で十五個位を抱卵せしめて、十二羽の雛を得。又第一回の抱卵二十六個中の孵化数よりレグホーンの雌五羽と、名古屋コーチンの雌二羽とを取り、残部のレグホーン八羽と名古屋コーチン七羽とを賣るとして、前後合計二十七羽の雛を賣る事が出来ます。**雛の價** 一羽の價をどの位にすれば引き合ふかといふと、先づ一羽の母鶏が抱卵期間(二十一日)に毎日産卵するとすれば、二十一個で其頃の一個の價を一錢八厘

賣却雛の
意

一羽の雛
價

と見れば、約三十八錢三羽分で一圓十四錢となる譯です。一方種卵は全部で四十一個ですから、此價七十三錢八厘です。總計一圓八十七錢八厘となります。ですから二十三羽の雛を一羽七錢五厘づつで賣つたものとする、母鶏は毎日卵を生み、自分の雛即ち更新用に残したレグホーンの雌五羽と、名古屋コーチンの雌二羽は、ロハで貰つたやうなわけです。實際の時價は時期が早いといふので、一羽十五錢位には賣れますから、生後毎日三厘づつ、の餌をやつて二週間位置いて賣却しても、充分な利益があります。而も日数を多く費し高く賣らうとするより、初生雛で一羽十二錢位に賣る事が出来るなら最も得策です。(更新法参照)

ニ 糞の事

鶏糞の肥効 私どもは百姓商賣の身分ですから、鶏糞を以て主要な肥料として敢て賣却するやうな事をしませぬ。實際鶏糞は磷酸成分に富んで、用法を誤ればこそ作物を枯らしたり、其効果を充分現はすことが出来ませぬけれど、堆肥場に積み重ねるか、又は下水等で腐敗せしめて使ふと、どの作物にでも結構なものです。世間に往々、鶏糞を施したら桑が枯れたの、茄子が赤く縮んだのといふ人もあります。

鶏糞の肥
効

利用法

すが夫れは全く用法の悪い爲めで、つまり新鮮なるものをやつたり、分量が多く濃厚に過ぎたりするからなのです。而も鶏糞は施與の必要なき時は、天日に乾かして乾燥して居る場所へ置けば、何時迄も置けるものです。昨今は作物肥培の聲が高く、當地方にも時々商人が來ます、前申す通り私は別に賣つた事もありませぬけれど、其都度價格を聞いて見ますと、風乾物の無砂物十貫目六十五錢内外のやうです。

鶏の脱糞

鶏の脱糞量 十五羽の鶏が一ケ年間凡そ何の位排泄するものであるかは、精細に調べた事がありませぬが、總じて鶏は夜間脱糞するもので、放置して置いても大半は舍内に排泄するやうです。各所の調査に依りますと、一日の脱糞量大凡風乾物で三十多となつて居るやうです。だが今申す通り放飼して置くから、其三分の一は外界に脱出するとして、二十多だけは舍内に残るわけですから、一ケ年大凡七貫五百多位となります。で十五羽合計百十二貫五百多で、代價七圓三十錢餘となります。勿論鶏の脱糞量は體の大小に關係するものでありますが、名古屋コイチンなど殊に大糞をやるものです。

取扱ひ

尙糞の取り扱ひについて一寸申し述べますが、これを取り除く事を怠つて舍内に堆積して置くと、たゞに鶏の衛生上に害をなすばかりでなく、大に肥料的價値を減するものです。で少くも二三日に一度は取り去つて、直ぐ溜桶に入るゝか、さなくば、一寸日光に乾かして箱又は俵に入れ、乾燥した場所に貯藏して置くのです。鶏舎内を掃除して得た塵芥の如きも、溜桶に入るゝか又は堆肥場に積むのです。鶏糞は液肥として使はんでも、堆肥場に積み腐敗醱酵せしめて堆肥と共に畑又は田に運搬しても良いものです。果物や麥、稻などに鶏糞は至極好適です。

ホ 飼料の事

飼料の事

飼料は苟も腐敗しかつたものや、毒分の無いものは、大概これを食はせませんが、斯かる廢物的のものは敢て代價に見積る迄の必要もありません。が穀類や動物質飼料及び貝殻骨などは勿論金を出さねばなりません。尤も此等の飼料とて、やり方に依つては直ぐに五圓や三圓の相違の來るものです。勿論御馳走すればしただけの卵を産みますけれど、純益は必ずしもこれに伴ふものでありませぬから、相當にやるのが宜しからうと思ひます。左に私のやつた經驗から打算して見ます。

糶

糶は一ケ年間通じて百二十貫もあつたら、大概間に合ふやうです、いや充分です。次に一升の目方は勿論糶の上下に依つて差のある事は申す迄もなく、極下等の販賣品は百匁位なものもあります、而しこんな下等なものは仲々鶏が喰ひませぬ甚だしい場合には半分以上も残すものです。私は自宅産出のものを使ふて居ますが、多少玄米も交つて居る位で百七十匁位あります。今前記の百二十貫を假に一升百七十匁として見ると、七石何升といふ位になりました、一日二升位の割となつて居ます。普通は毎日一升五合位として居ますけれど、糶飼の時や換羽期の時などもあり、且つ鶏がひもじさうな顔をして居る時、自らやらなければならぬやうな場合もありますから、二升位となるでしやう。又これを代價に見積つて見ますと、これも時と場所に依つて違ひまじやうが、まづ十貫目一圓十錢とすれば、十三圓二十錢となります。

鉄

鉄は糶飼の時や嚴冬になど使ひますが、全部で二百九十斤もあれば、これも間に合ひます、此代價は八圓七十錢程でした。

魚屑と鱈

魚屑と鱈と獸骨で五圓五十錢程で充分のやうです。(鱈は一升二十五錢としま

碎米

して約四升、これを一圓と見ました、勿論これは宅の子供がよく捕へて來ます) 雛の爲めの碎米は又宅のを使ひますが、大きく見積つて一圓とします。斯くして合計して見ると二十八圓四十錢許りで、一日平均七錢七厘強、即ち十五羽の鶏に割り當てると、毎日五厘一毛強で、一ケ年間一圓八十錢強であります。尤も此外に青物代がありますけれど、これは概ね廢物を使ひますから、別に價はありませぬ。又左に嘗てやつた一年間の決算を参考の爲めに申します。而し必らずこれが正浩を得て居るか否かは解りませぬ。

へ 收支の實例

前申す通り嘗て私のやつた實際の例ですが、唯一例と見て頂きたいのです。

十五羽養鶏收支決算書

總収入金 一 金五十九圓六十二錢七厘

内 譯

金四十七圓四十七錢七厘

卵賣却代

再 譯

(114)

三十六圓二十八錢八厘

一圓四十四錢

八圓七十一錢四厘

一圓三錢五厘

金三圓十五錢

再 譯

一圓三十五錢

一圓八十錢

金三圓五十錢

再 譯

一圓二十錢

二 圓

三十錢

金五圓五十錢

一金三十一圓七十一錢四厘

內 譯

食用卵千五百七十二個

種卵三十六個

自家消費卵三百六十六個(見積)

同用種卵四十五個(見積)

雛二十一羽賣却代

名古屋コーナン九羽

レケホーン十二羽

廢鶏賣却代

名古屋コーナン二羽一貫二百目

レケホーン五羽二貫目

雄廢一ヶ年の見積

糞 代(見積)

總支出金

金三圓六十一錢

再 譯

一圓二十一錢

一圓二十錢

一圓二十錢

金二十四圓九十錢

再 譯

十二圓十錢

七圓五十錢

三圓三十錢

一 圓

一 圓

金一圓二十錢

金五十錢

金五十二錢

金九十八錢四厘

棚内飼育飼料代(自三月十五日至四月十五日)

糞十二貫目

糠四十斤

魚 屑

放飼育飼料代

糞百貫目

糠二百五十斤

魚 屑

鹽

碎 米

水ガラス八ポンド代

除虫菊粉及硫黃華代

器物代

諸雜費

最新副業十五羽養鷄 一九、養鷄經濟

(115)

十五羽養
鶏の利益

似非經濟

差引金二十七圓九十一錢三厘 純益

(一羽平均一圓八十六錢一厘)

これが年末に於ける收支比較の結果です。十五羽を標準としてやつたら必らず此位の利益のある事は疑のない事實です。勿論百姓の片手間になつて居るので、即ち餘力を利用するので、勞銀は見積つて置きませぬ。又十五羽養鶏に於ては勞銀を見る必要がありません。よく世間のお方は、鶏飼が損だといふ聲を放ちますが、それは無考へに數多く飼育して見たり、極めて粗暴な取り扱をしたたり、或は自分の内の鶏の産む卵の事ですから、知らず／＼の間に食べて仕舞つて賣却するのを忘れ、或は二個採れば賣り、三個採れば賣りするので、集まる所のものは皆はいた金で何の役にも立たず、知らず知らずの間に使ふのです。又糞とても其通り頼と利用せぬお方が多いやうで、斯かるお方の所有に歸した鶏こそよい面の皮です。

尤も右の計算に不合理と思召す點もあるでしやう。例へば飼料代や卵の代價です。而し實際私が而か賣買したものだから致し方がありません。又自家用卵

(二三)

最後の注

は時の相場に見積つてあります。碎米や糶は自家のもですが、代價は地方の相場に見積つたものです。而し市場にある糶なるものは、自宅のものと比較する事の出来ぬ劣等なものです。で宅のものを若し賣るとしては十一錢位のものだらうと見積つたのです。尙又放飼の間の糶を百十貫目としますと毎日二升強になる譯ですが、これも一升五合と定めて置いて、早く喰へ盡して、夕方ひもじいやうな顔をして居る時や、雨の日などに少々増してやらねばならぬので、百十貫となつたのです。

とに角現金として手に入るのは、毎年二十八圓づゝですが、巻首に申す通り、子供の學校小使や私の煙草代位には立派に向つて居ます。唯、毎日毎に收入する金は、必らず月末まで貯へて、翌月の使用にせねばなりません。實際二圓でも三圓でも纏まつた金でなければ、利益のあるやうに思はれぬのが人情です。且つまた實際役にも立たぬものです。

尙最後に御注意申すのは、

一 多數は飼はぬ事

最新副業十五羽養鶏 一九、養鶏經濟

(二三)

- 二 常に鶏に親切にする事
 - 三 適當な種類を選ぶ事
 - 四 病的にならぬ限りは充分に餌を與ふる事
- 右四ヶ條だけは必ず御嚴守を願ふのです。

二〇帳簿

尙卷末に各月の産卵及び消費數等の記入、及び毎日管理日誌の雛形を舉げ讀者諸君の參考に供して置きます。

各月の産卵及び處分表

月	名古屋コーチン	レケホーン	計	處分	個數	代價	單價
一月	五三	一〇三	一五六	消費 賣却	五一 一〇五	一、四二八 二、九四〇	二八
二月	五七	一四三	二〇〇	消費 賣却	食用三一 種卵四五 食用八八 種卵三六	〇、七四四 一、〇三五 二、一一二 一、四四〇	二四

一、各月産卵及處分表

月	産卵	消費	賣却	計	處分	個數	代價	單價
三月	三三	一九二	二二五	消費 賣却	二〇〇	〇、四五〇 三、六〇〇	一八	
四月	三九	二四一	二八〇	消費 賣却	三三 一一〇	〇、五七六 二、四八四	一八	
五月	五五	二二三	二七八	消費 賣却	二八 二五〇	〇、六七二 六、〇〇〇	同前	
六月	五三	一五二	二〇五	消費 賣却	三六 一六九	〇、八六四 四、〇五六	同前	
七月	三四	一三七	一七一	消費 賣却	三一 一四〇	〇、七四四 三、三六〇	同前	
八月	三五	九八	一三三	消費 賣却	二四 一〇九	〇、五七六 二、六一六	同前	
九月	一八	三三	四九	消費 賣却	二〇 二九	〇、四八〇 〇、六九六	同前	
十月	二〇	五三	七三	消費 賣却	二三 五〇	〇、五五二 一、二〇〇	同前	
十一月	三六	七七	一一三	消費 賣却	二九 八四	〇、六九六 二、〇一六	同前	
十二月	四八	八九	一三七	消費 賣却	三六 一〇一	一、〇八〇 三、二四〇	三〇	

最新副業十五羽養鶏 二〇、帳簿

合計 四八一 一、五三九二、〇二〇

産卵平均二〇強 同一七一

(備考)

名古屋コーチンの産卵少きは其鶏に使ひたるに依る。

又九月に産卵急減せるは賣却せるに依る。

十月十一月に産卵歩合の増加せるは新雛の産卵に依る。

消費	食用	三六六	八、七一四
種卵	食用	四五	一、〇三五
賣却	種卵	三五七三	三六、二八八
種卵	種卵	三六	一、四四〇

二、日記帳

日記帳

日記帳は半紙二つ折の帳簿で、先づ一枚の紙に一月記載の欄を設けたるもの。會計簿は日記帳の後部につけて置きます。野は左圖のやうで、半紙一枚に一月書かれますから、十二枚あれば宜しく會計の方は半面一ヶ月分ですから六枚あれば宜しいです。

記入の大要

尚記入の大要を申しますと、日記帳の月記事の所には勿論其月の數字を記入し其下の羽数は其月初めに居る羽数を記入します。次に産卵の所で産卵の下にはレダホーンの産卵数とコーチンの産卵数とを別けて記し計といふ所は累計で月始めからの数を累計して記入して置きます。すると何時見ても本月は本日迄何

日記帳雛形

月記事		日一	日二	日三	日四	日五	日六	日七
レダホーン	コーチン	レダホーン	レダホーン	レダホーン	レダホーン	レダホーン	レダホーン	レダホーン
計産卵	計産卵	計産卵	計産卵	計産卵	計産卵	計産卵	計産卵	計産卵
個個個	個個個	個個個	個個個	個個個	個個個	個個個	個個個	個個個
日八	日九	日十	日十一	日二十	日三十	日四十	日五十	
レダホーン	レダホーン	レダホーン	レダホーン	レダホーン	レダホーン	レダホーン	レダホーン	レダホーン
計産卵	計産卵	計産卵	計産卵	計産卵	計産卵	計産卵	計産卵	計産卵
個個個	個個個	個個個	個個個	個個個	個個個	個個個	個個個	個個個

會計簿雛形

月收支一覽

月日	收						支						
	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日		
月日													
月日													
月日													
月日													
月日													
月日													
合計													
合計													
累計													

(1311)

會計簿記
入の概要

願産んだか直ぐ解ります。而もレグホーンは白殻名古屋コーチンは赤殻だから直ぐ解ります。

會計帳簿の方は上欄は収入を記入し下欄に支出を記入するので。收支比較欄には其月損益の状を書きます。累計といふ所には収益を書くので年度始めより各月の利益を合算して書きます。又點線下の残高分配と申すのは、上部の累計に關係なく、其月の利益の分配法を書くのです。斯う申すと支出欄と重複するやうですが、此會計は鶏舎の會計簿ですから養鶏に關する支出のみ記入するので煙草代や子供等のお小使は記入されぬ筈です。で其分配を一寸大書くのです。即ち主人に何程主婦に何程といふやうな具合です。記帳と申すは一寸面倒のやうですが、やつて見ると至極面白もので習慣となれば決して億劫なものではありません。

最新副業 十五羽養鶏終

最新副業十五羽養鶏 二〇 帳簿

(1311)

餘白をかりて

長友平兄は現に郷里に在つて、教鞭を執る傍ら、十五羽養鶏を
實行して居る。地遠隔にして不便多いため、本書の出版に就
いての萬事を僕に委任された。不肖の僕、著者の宏量に感じ
て本書の体裁、校正等凡べて引き受けて了つた。斯うして出
來上つた本書、著者の意に満たざる點も多かるべく、或はまた
誤謬誤植等ないともいへぬ。若しそれらのことありとせば、
これ皆僕の致すところ、冀はくは讀者、幸に累を著者に及ぼす
勿れ。

帝國農學會編輯室にて 淺間 望 洋

明治四十五年三月十五日印刷

明治四十五年三月二十日發行

最新十五羽養鶏與付

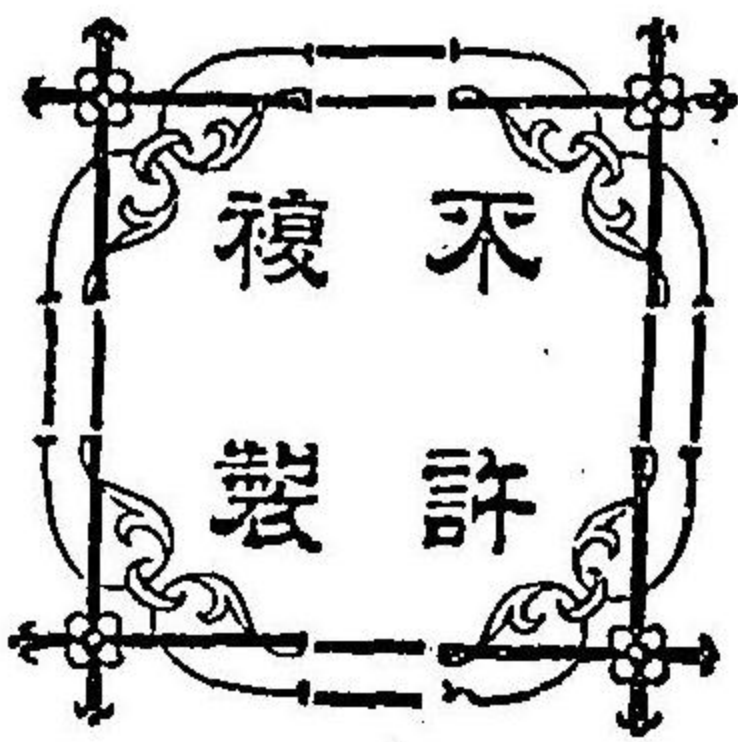
定價金三十五錢

著 作 者 平 藤 雄

發 行 者 東 京 市 芝 區 芝 公 園 五 號 地 二 番 守 屋 泰 三

印 刷 者 東 京 市 淺 草 區 黒 船 町 廿 八 番 地 池 田 晴 三

印 刷 所 東 京 市 淺 草 區 黒 船 町 廿 八 番 地 東 京 並 木 活 版 所



發 行 所

東 京 市 芝 區 芝 公 園 五 號 地
(振替口座東京一九九三九九)

帝 國 農 學 會

農界青年の必讀書

甲種農學講義錄

毎月二回發行
一ヶ年半卒業
會費一ヶ月
四十五錢

農業に必要な知識は細大となくこれを網羅し、講義は懇切丁寧なる上更に平易明解を旨としてあります。時の農商務大臣子爵大浦兼武閣下が、本講義錄に對して『二期界を裨益する所頗る大也』と激賞せられたのに徴しても、その如何に有益で、如何に内容の整齊して居るかが分ります。

講義見本付規則葉書にて申込次第進呈

趣味津々
實益豊富

新農界

毎月一回發行
一冊送料共十錢
一ヶ年前金壹圓

本會の機關雜誌で會員諸子には毎月無料で配付します。本誌の特色は(一)専門大家の講話や論説や實驗を載せて、讀者の農事智識を促進し(二)田園生活の眞趣味を鼓吹し(三)清新なる田園文學を紹介し(四)且つ後半に農界青年の思潮欄を設け、一意専心農村改良策の研究實施に努めて居ます。

見本希望者は郵券十錢封入申込せよ

發行所 東京芝公園五號地 帝國農學會
(振替口座東京一三九九三)

本社

東京府南葛飾郡
大木村
木下川

電話長(本所) 三八二番
振替口座東京 八一三三番
電信略号 二七
郵便宛名 東京府葛飾郡
郵便局私書函 第三號

分工場

東京府
北豊島郡
尾久

(電話下谷八七〇)

強過 養 酸 肥 料

商 標

日 本 人 造 肥 料 合 資 會 社

日 本 人 造 肥 料

完 全 配 合 肥 料

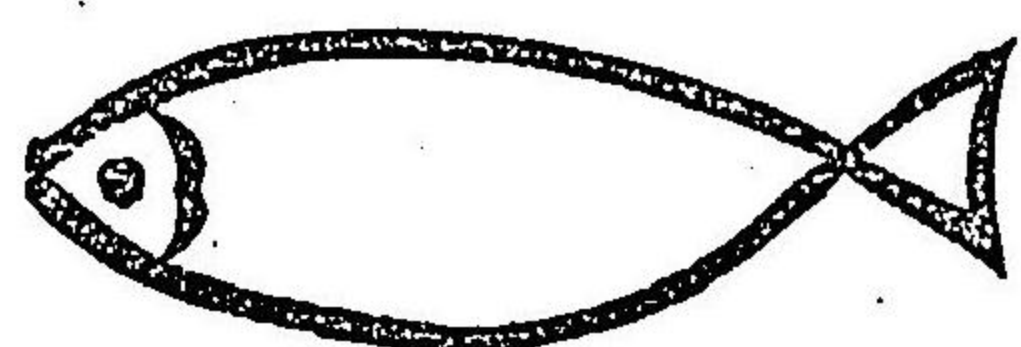
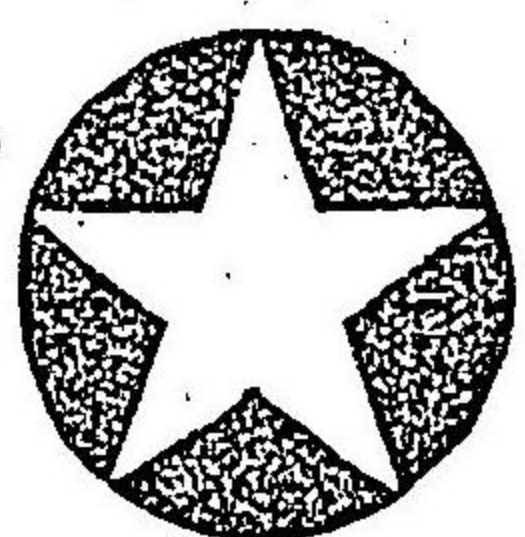
進呈

御申越次第
定價表
營業案内及

進呈

完全配合肥料

登 錄 商 標



營業
品目

精過磷酸。特製過磷酸。普通過磷酸。
完全肥料。硫曹肥料。硫酸。

◎創立明治二十年

◎東京市京橋區越前堀二丁目三番地

本社出張所

大日本人造肥料株式會社

◎資本金六百貳拾五萬圓

◎大阪市西區本田壹番町甲五番地

大阪支店

注 意

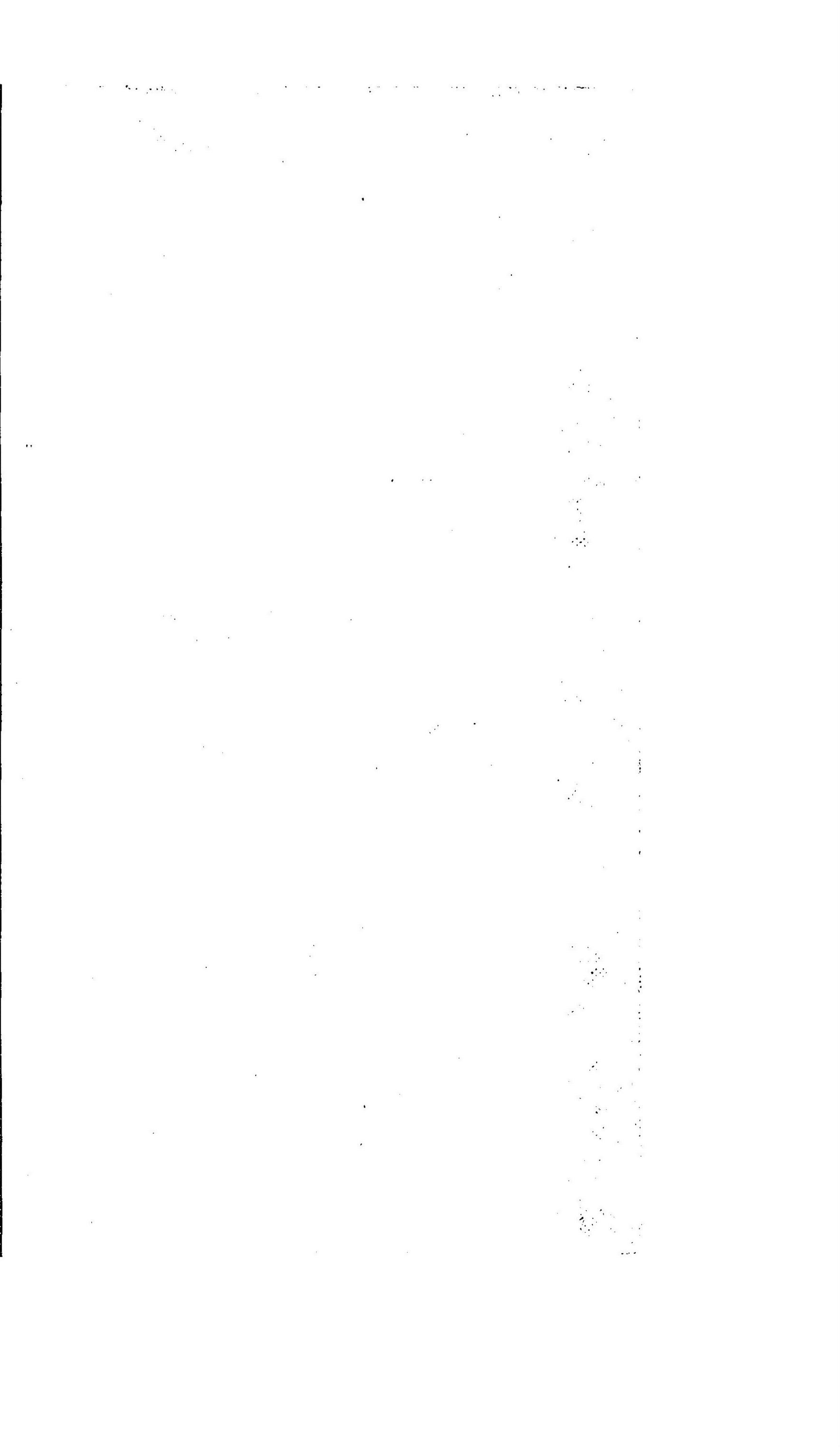
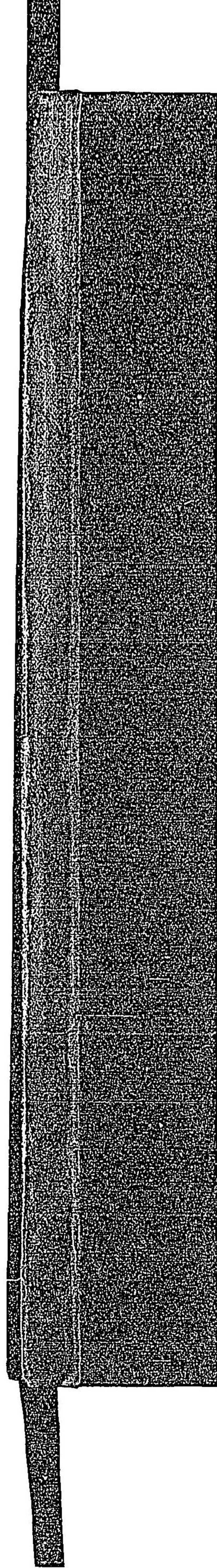
酸性土壤向きとして特に注意を加へ精製したる完全人造肥料拾號。同拾壹號。特製完全人造肥料壹號。同參號。同四號。水田磷酸。骨粉等の如き中性又は鹽基性肥料を取揃へあり



43

330

44



330

44

064855-000-2

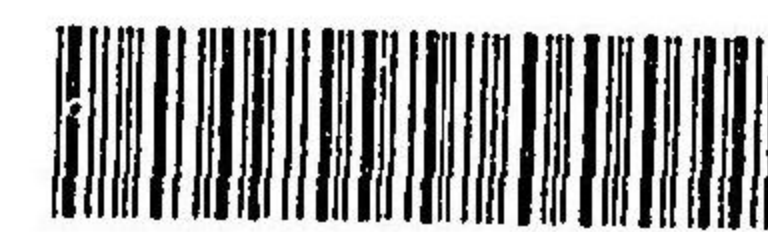
330-44

十五羽養鷄

平 藤雄 / 著

M45

CCD-0313



28. 7. 8